

平成29年度補正予算

省エネルギー設備の導入・運用改善による 中小企業等の生産性革命促進事業

成果報告の手引き Ver. 2.0（完全版）

2020年 3月

本手引きは、「平成29年度補正予算省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業」（以下、「本事業」という。）の成果報告書の作成方法について説明しています。

本手引きは、平成29年度補正予算『**省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業**』の成果報告について、必要事項を説明する手引きです。
「公募要領」、「事務取扱説明書」、及び設備導入に係る全ての手引きをご覧いただいた上で、成果報告書を作成してください。

本書

平成29年度補正予算 省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業 成果報告の手引き

■ 補助事業ポータルログイン画面

https://ap3.salesforce.com/secur/login_portal.jsp?orgId=00D10000000I7xa&portalId=0605F0000008xlw

■ 採択者向けWEB（交付決定を受けた補助事業者向けのページ）

< 1次公募 >

<https://sii.or.jp/kakumeisokushin29r/information1.html>

< 2次公募 >

<https://sii.or.jp/kakumeisokushin29r/information2.html>

上記WEBページには、交付決定後の各種手続きやそれに関する説明資料（本書、事務取扱説明書、報告書を作成する上での支援ツール等）、及びS I Iからのお知らせ事項が掲載されます。

随時更新されますので、本WEBサイトをご登録いただくことをおすすめします。

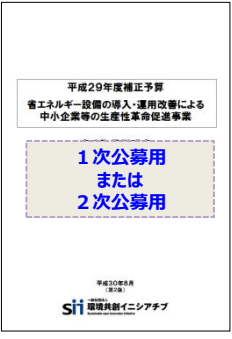
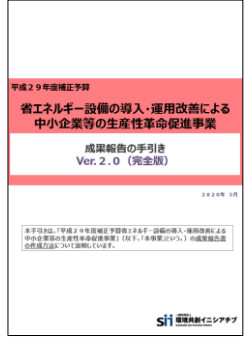
■ 更新履歴

No.	版番	更新日	更新ページ	更新内容
1	1.0	2019/03/18		新規作成
2	2.0	2020/03/23	第3章以降	新規執筆分を追加
			第1章、第2章	第3章以降の追加に伴い、第1章、第2章においても関連箇所の説明を追記、更新

本書の目的

本書は、平成29年度補正予算『省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業』を活用して実施した省エネルギー性の高い設備の導入による省エネルギー量の実績をS I Iに報告する、「**成果報告書**」の**作成、提出方法について説明する手引書**です。

本事業の成果報告の手引きは、2回に分けて公開しています。本書は、2019年3月公開の手引きに、成果報告の具体的な方法を追加し、改訂したものです。前回公開分から追加した内容については、本ページ下部に記載の「**■ 成果報告の手引き Ver.2.0（完全版）について**」を参照してください。

【事務取扱説明書】	【成果報告の手引き】※本書
 <p>平成29年度補正予算 省エネルギー設備の導入・運用改善による 中小企業等の生産性革命促進事業</p> <p>1次公募用 または 2次公募用</p> <p>平成30年3月 （第2版）</p> <p>sii 経済産業省イニシアチブ</p>	 <p>平成29年度補正予算 省エネルギー設備の導入・運用改善による 中小企業等の生産性革命促進事業</p> <p>成果報告の手引き Ver. 2.0（完全版）</p> <p>2020年 03月</p> <p>本手引きは、「平成29年度補正予算『省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業』（以下、「本事業」という。）の成果報告書の作成方法について説明しています。</p> <p>sii 経済産業省イニシアチブ</p>
<p>①事務取扱説明書にて 本事業の成果報告で 認められる計測・集計 方法、書類の提出方 法等について確認</p>	<p>②手引きを見ながら 成果報告書を作成</p>

■ 成果報告の手引き Ver.2.0（完全版）について

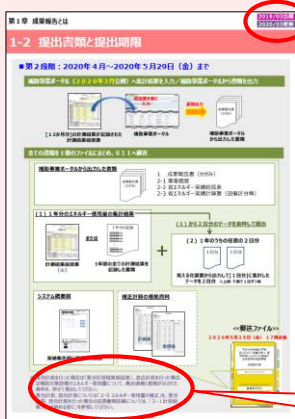
本手引きは、2019年3月に公開された「第1章 成果報告とは」、「第2章 2019年4月から毎月実施する作業」に、以下の2つの章（及び別途明記する箇所）を追加したものです。

- 第3章 補助事業ポータルへの入力、書類の印刷
- 第4章 成果報告書類のファイリングと提出

追加された2つの章では、第1章、第2章を基に2019年4月～2020年3月の間で計測していたエネルギー使用量を、S I Iへ報告するための書類作成手順、及び提出方法について説明しています。

追加された2つの章をよく読み、必ず定められた提出期限までに、成果報告書を提出してください。

なお、章の追加に伴い、既存の第1章、第2章にも内容が更新された箇所があります。更新された箇所は紫色の文字（この文章の文字色）で書かれていますので、併せてご一読をお願いします。ページ毎の更新の有無については、各ページ右上に新規公開なのか内容の更新なのかわかる印を追加しました。参考にしてください。



2019/03公開 2019/03に、既に公開済みのページです。

2020/03新規 2020/03に、新規で追加されたページです。

2020/03追記 2020/03に、既にあったページに新たな文章を追加したページです。

2020/03更新 2020/03に、既にあったページの内容を更新したページです。

当該例では、提出書類について説明した図の下に、**紫色で説明が追記**されています。

成果報告の流れと手引きの構成

この成果報告の手引きは、2回に分けて公開されています。

2019年3月に公開された「成果報告の手引き」では、下図【第1段階】（成果報告の概要や1年間のデータ集計方法）について説明し、1年後に報告を行う際にデータの欠損や、書類不足等が発生しないよう準備いただくご案内をしていました。

この度2020年3月に、上記【第1段階】に続く、下図【第2段階】の手引き（完全版）が公開（追加）されました。追加された第3章、第4章では、1年間のエネルギー計測結果を示す証憑書類を揃え、補助事業ポータルへ入力、その他の書類とともに提出するまでの流れを説明しています。

成果報告の目的や流れを再度確認のうえ、必要な書類を揃えて、必ず提出期限までに成果報告書を提出してください。

2019年3月公開済み

第1段階

成果報告とは

第1章

成果報告の目的や流れ、提出書類とその提出期限等、成果報告の概要について、説明します。
また、計測結果の集計例も、サンプルを掲載して説明しています。

2019年4月から毎月実施する作業

第2章

2019年4月から2020年3月までの1年間に、毎月実施する作業について、説明します。併せて、補正計算についても説明します。

2020年3月公開（本書）

第2段階

補助事業ポータルの入力、書類の印刷

第3章
※本書にて追加

1年間の計測結果を示す証憑書類の例を示した後、計測・集計結果を基に補助事業ポータルへの必要事項の入力方法、及び必要書類の印刷方法について、説明します。

成果報告書類のファイリングと提出

第4章
※本書にて追加

準備した書類のファイリング・郵送方法について、説明します。
作成した書類は、必ず提出期限内にS I Iへ郵送してください。

（2020年5月29日（金）17時必着）

目次

本書の目的	P. 2
成果報告の流れと手引きの構成	P. 3

第1章 成果報告とは

1-1 成果報告とは	P. 7
1-2 提出書類と提出期限	P. 9
1-3 計測結果の集計例（提出書類「添付1」サンプル）	P.14
<参考> 省エネルギー量達成率について	P.16

第2章 2019年4月から毎月実施する作業

2-1 計測結果の集計・記録を始める前に	P. 19
2-2 集計・記録の基本的な流れ	P. 20
2-3 毎月実施する作業	P. 21
2-4 差分計測、混合計測を行う場合	P. 23
2-5 エネルギー使用量の補正	P. 25

第3章 補助事業ポータルへの入力、書類の印刷

3-1 計測結果入力を始める前に	P. 29
1. エネルギー使用量の計測記録が1年間分揃っているか？	P. 30
<参考> 使用したエネルギー種別毎の注意事項	P. 31
2. システム概要図について、実績報告で提出した時点から変更が生じていないか？	P. 32
3. 差分計測を行ったか？	P. 33
4. 混合計測を行ったか？	P. 34
5. 補正計算を行ったか？	P. 36
3-2 補助事業ポータル入力内容と作成する書類	P. 37
3-3 補助事業ポータル入力の準備	P. 38
3-4 計測・算出結果の入力（共通）	P. 41
3-5 計測・算出結果の確認（共通）	P. 44
<参考> 再計算したい場合	P. 45
3-6 補正計算の実施 ※必要な場合のみ	P. 47
3-7 必要書類の印刷（共通）	P. 53
<参考> 成果報告書類のサンプル	P. 57

第4章 成果報告書類のファイリングと提出

4-1 成果報告書類のファイリングと提出の概要	P. 63
4-2 提出書類の印刷と控への作成	P. 64
4-3 提出書類のファイリング	P. 66
4-4 提出書類の郵送	P. 67
<参考> 使用エネルギー選択表	P. 68

第1章 成果報告とは

成果報告の目的や流れ、提出書類等
成果報告の概要について、説明します

1-1 成果報告とは

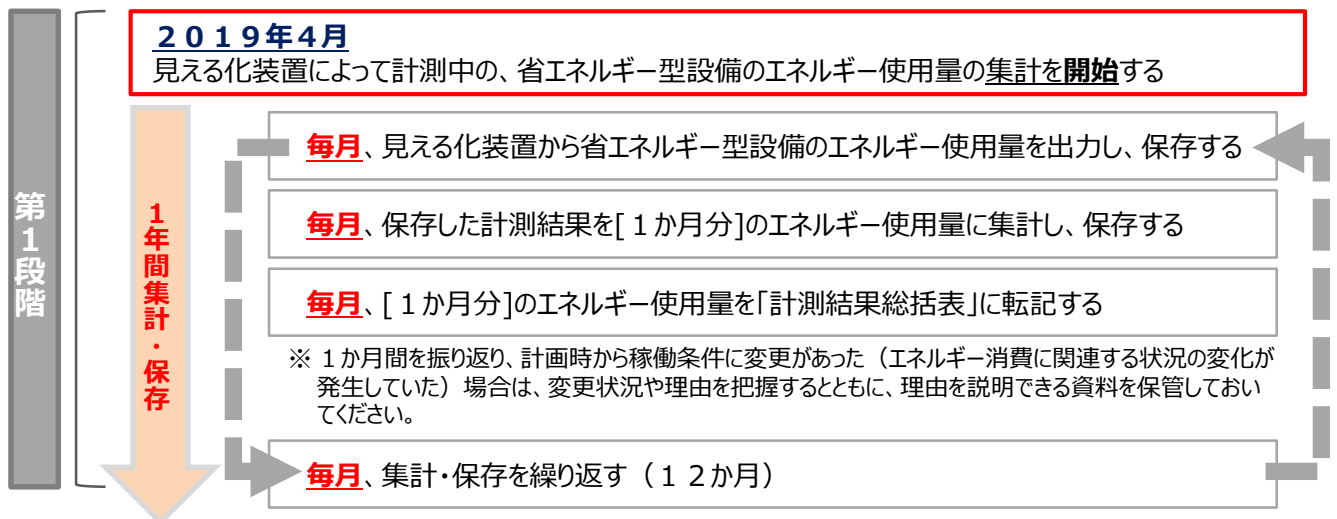
■ 成果報告の流れ

<<成果報告とは>>

成果報告とは、本事業の事業完了日以降、見える化装置を使用して計測している省エネルギー型設備のエネルギー使用量を、[1か月毎]に1年間集計して取りまとめ、設備の更新による省エネルギー実績をS I Iに報告する手続きです。本事業の成果報告は、以下のとおり2段階に分けて進めていきます。

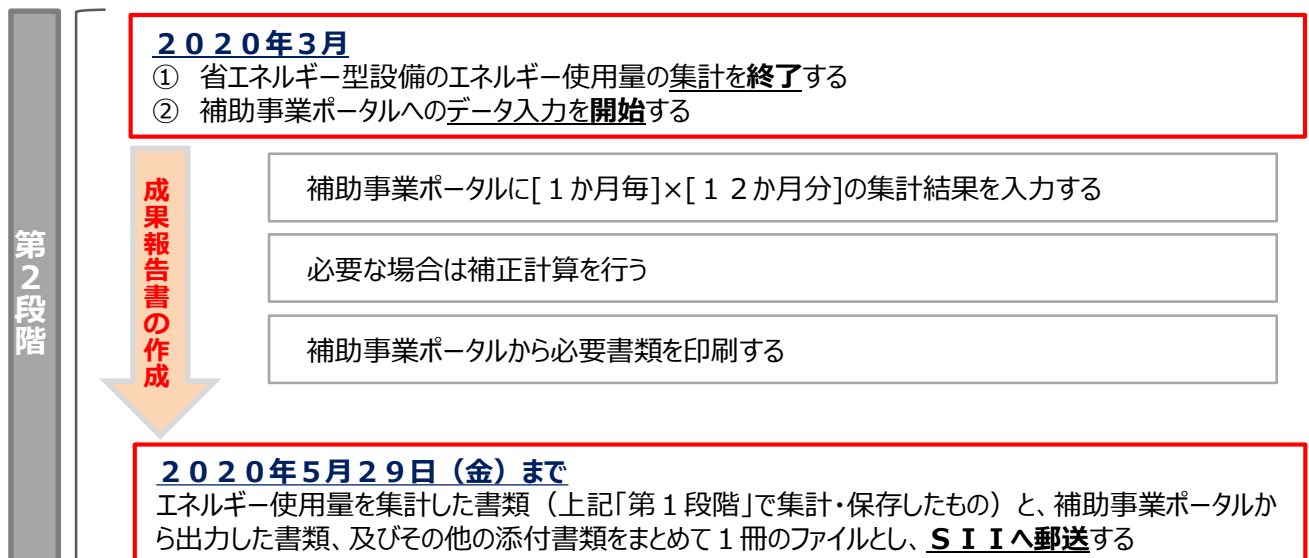
【第1段階：計測結果の集計、保存】

「2019年4月から2020年3月まで」の1年間、[1か月毎]に計測結果を集計・保存します。
[1時間以下単位]で計測したデータを、毎月[1か月分]に集計して、保存します。[1か月分]のエネルギー使用量はS I Iが提供する管理フォーマット「計測結果総括表」にも転記し、併せて保管しておいてください。



【第2段階：補助事業ポータルへのデータ入力、S I Iへのファイル郵送】

1年間にわたって集計したデータを、補助事業ポータル（2020年3月公開）に入力します。
補助事業ポータル内で、入力したデータと既存設備のエネルギー使用量とを比較して「実績省エネルギー量」を算出し、それを交付申請時に提出した「計画省エネルギー量」と比較して、「省エネルギー量達成率」を算出します（P.16参照）。
補助事業ポータルへのデータ入力と必要書類の提出をもって、全報告作業が完了します。
成果報告の最終提出締切は、**2020年5月29日（金）**です。



1-1 成果報告とは

■ 計測結果の集計について

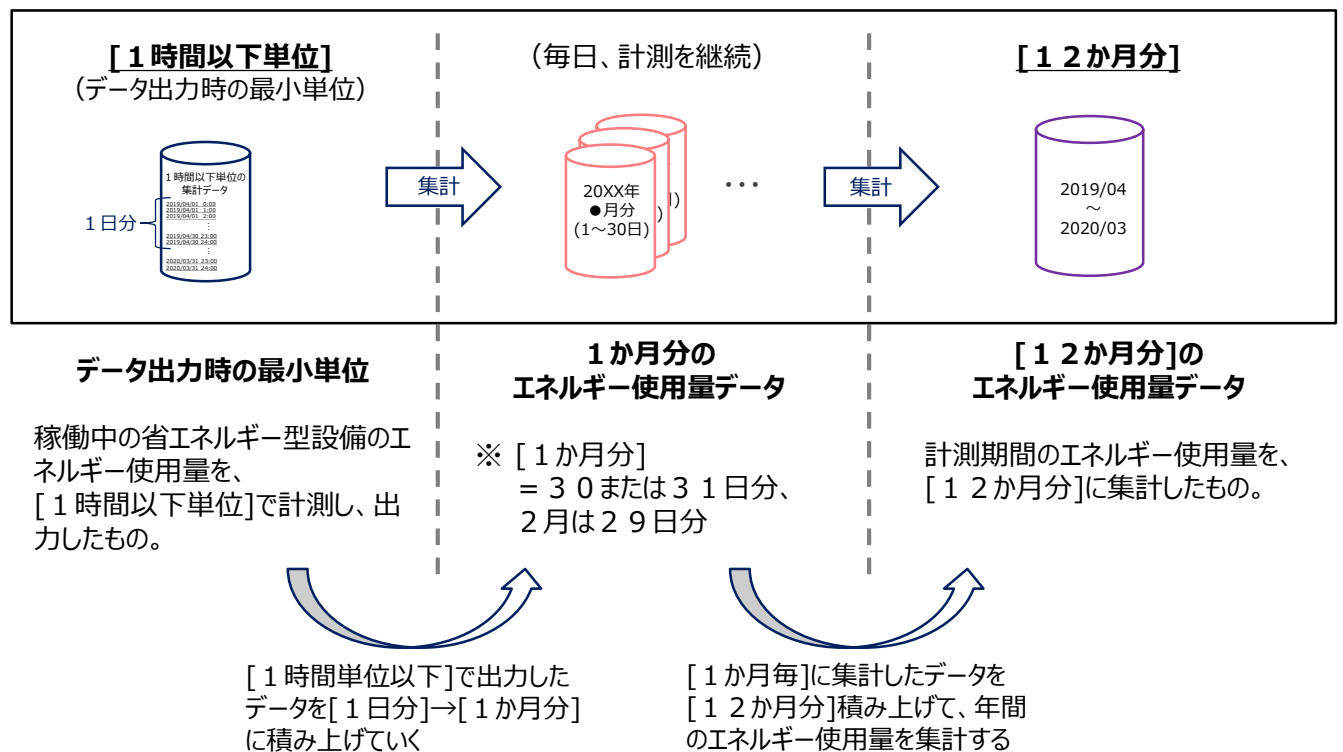
<<集計期間について>>

成果報告のために省エネルギー型設備のエネルギー使用量の計測結果を集計する期間（集計期間）は、**2019年4月から2020年3月までの1年間**です。

原則、「月初から月末までを1か月」としますが、交付申請時に独自計算を使用していた場合は、その際の計測期間に合わせた「1か月」で集計してください。

<<エネルギー使用量の集計について>>

エネルギー使用量は、以下のように、計測データの積み上げによって集計されるものとします。
 なお、エネルギー使用量は必ず、**[設備区分毎]**、かつ**[エネルギー種別毎]**に計測してください。



必要に応じて、追加でデータや書類の提出を求める場合があります。

見える化装置のデータはこまめにバックアップをとり、データの欠損により報告ができないことがないようにしてください（1か月に1回以上のバックアップを推奨）。

1-2 提出書類と提出期限

■第2段階：2020年4月～2020年5月29日（金）まで

補助事業ポータル（2020年3月公開）へ集計結果を入力／補助事業ポータルから書類を出力



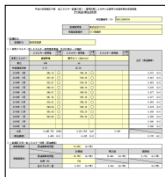
全ての書類を1冊のファイルにまとめ、S I Iへ郵送

補助事業ポータルから出力した書類



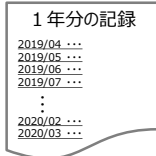
- 1 成果報告書（かがみ）
- 2-1 事業概要
- 2-2 省エネルギー実績総括表
- 2-3 省エネルギー実績計算書（設備区分毎）

(1) 1年分のエネルギー使用量の集計結果



計測結果総括表
(※)

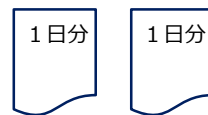
または



1年間の全ての計測結果を
記録した書類

(1) から2日分のデータを抜粋して提出

(2) 1年のうちの任意の2日分



見える化装置から出力して[1日分]に集計した
データを2日分 ※上期・下期で1日ずつ等

システム概要図



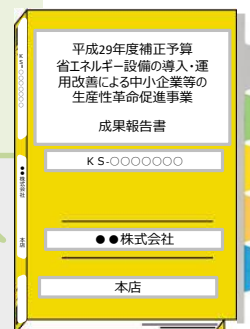
実績報告時に提出した図面

補正計算の根拠資料



<<郵送ファイル>>

2020年5月29日（金）17時必着



- ※ 差分計測を行った場合は「差分計測結果総括表」、混合計測を行った場合は補助対象設備のエネルギー使用量について、算出過程と根拠が示された資料を、併せて提出してください。
- ※ 差分計測、混合計測については「2-4 差分計測、混合計測を行う場合」を、差分計測、混合計測を行った場合の証憑書類詳細については、「3-1 計測結果入力を始める前に」を参照してください。

1-2 提出書類と提出期限

■ 提出書類

2020年5月29日までに成果報告書として提出する書類は、下表のとおりです。

No.	書類名称	入手方法	原本/写し
1	成果報告書（かがみ）		原本
2	1 事業概要	ポータル出力	原本
	2 省エネルギー実績総括表		原本
	3 省エネルギー実績計算書（設備区分毎）		原本
添付1	<p>計測したエネルギー使用量データを、以下2つの種類に集計して提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>[1か月毎]×[1,2か月分]のエネルギー使用量のデータ</u> ※ 集計イメージや必要情報の詳細については、「1-3 計測結果の集計例（提出書類「添付1」サンプル）」を参照してください。 ※ 代わりに「計測結果総括表」を提出しても構いません。 ● <u>[1時間以下単位]で取得したエネルギー使用量のうち、設備が稼働していた日のデータ（2日分）</u> ※ 上記「[1か月毎]×[1,2か月分]のエネルギー使用量のデータ」から、任意の2日分を抜き出して提出してください。 ※ 抜き出す基準について：見える化装置による計測が行われていたことの証明として提出が必要です。連続2日等ではなく、例えば夏季と冬季/上期と下期で1日ずつ等、年間を通して計測していることを示せる2日を選択してください。 ※ 導入した省エネルギー型設備に接続されている全ての計測機器毎に集計し、提出してください（P.13のシステム概要図の例では、「計測機器」の3台分の提出が必要）。 	別途入手/作成	原本/写し
	<p>差分計測、混合計測実施時の提出書類の詳細については、「2-4 差分計測、混合計測を行う場合」、及び「3-1 計測結果入力を始める前に」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 差分計測 <ol style="list-style-type: none"> (1) 差分計測結果総括表 (2) 計測結果総括表（差分計測） ※ 全ての設備の計測結果と、補助対象以外の設備の計測結果を、それぞれ1,2か月分まとめたデータを転記して作成します。 ※ 原則、S I Iフォーマットを使用して作成してください。 ● 混合計測 <ol style="list-style-type: none"> (1) <u>[1か月毎]×[1,2か月分]のエネルギー使用量のデータ</u> ※ S I Iフォーマット「計測結果総括表」を使用してまとめ、提出してください。 ※ 集計イメージや必要情報の詳細については、「1-3 計測結果の集計例（提出書類「添付1」サンプル）」を参照してください。 (2) 全ての設備の計測結果と、補助対象以外の設備のエネルギー使用量を合理的に算出した計算過程の説明資料 		
添付2	<p>システム概要図</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 実績報告時に提出した図面を提出してください。 ※ 計測方法の変更等があった場合は、最新の状態を示すシステム概要図を改めて作成し、提出してください。詳細については、P.13 <<システム概要図について>>、及び「3-1 計測結果入力を始める前に」を参照してください。 	別途入手/作成	原本/写し
添付3	<p>補正計算の根拠資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 簡易補正を行う場合は、「計測結果総括表【補正值】（簡易補正）」を提出してください。 ※ 独自補正を行う場合は、「計測結果総括表【補正值】（独自補正）」、及び計算の根拠と計算式を説明した資料を提出してください。 ※ 補正計算、及び補正計算実施時に提出する証憑書類の詳細については、「2-5 エネルギー使用量の補正」、及び「3-1 計測結果入力を始める前に」を参照してください。 	別途入手/作成	原本/写し

■ 提出期限

【2020年5月29日（金）17時（必着）】までに、S I Iへ郵送してください（持込不可）。

第1章 成果報告とは

1-2 提出書類と提出期限

<<計測結果総括表について>>

「計測結果総括表」とは、計測したエネルギー使用量を「設備区分毎」、かつ「エネルギー種別毎」に毎月入力（記録）し、エネルギー使用量の計測・集計漏れを防ぐためにS I I が提供する管理フォーマットです。

1年分のエネルギー使用量を集計し、報告するためには、計測漏れや一定期間経過後のデータ消失等によるデータの欠損を防ぐことが重要です。集計結果を本表に毎月記録することにより、成果報告書の提出時、またはS I I から求められた際にはいつでも集計結果を提出できるよう、準備してください。

また、本表は、集計結果を入力することにより自動的に年間のエネルギー使用量目安が算出されるようになっています。算出された値と「計画省エネルギー量」（※1）とを比較すると、**達成可否の目安を毎月確認**することもできます（※2）ので、設備更新による省エネ効果を発揮するためにも、活用してください。

※1 「計画省エネルギー量」は、交付申請時に提出した書類「1-2 省エネルギー計算（総括表）」を参照してください。

※2 達成可否目安を確認する為の値の比較方法については、下に示すイメージ図内「計画値」の説明を参照してください。

◆計測結果総括表のイメージ

フォーマットは、採択者向けWEBよりダウンロードしてください。

また、入力項目の詳細については、P.2 1-2 2「（3）集計した[1か月分]のエネルギー使用量を、「計測結果総括表」に転記する」を参照してください。

平成29年度補正予算 省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業 計測結果総括表						
		申請番号：KS-		000123456789		
設備使用者		株式会社〇〇〇				
事業実施場所		〇〇事業所				
1. 設備区分						
設備区分	高効率空調					
2. <使用エネルギー別> エネルギー使用量集計値、及び計測データの確認						
使用エネルギー	エネルギー使用量 計測データ	エネルギー使用量 計測データ	エネルギー使用量 計測データ	合計（原油換算）		
単位	kWh	m ³				
換算換算係数	9.97	45.00				
2019年 4月	943.10	542.30		0.872 (k-l)		
2019年 5月	937.89	539.30		0.867 (k-l)		
2019年 6月	932.67	536.30		0.863 (k-l)		
2019年 7月	940.32	540.70		0.870 (k-l)		
2019年 8月	948.67	545.50		0.877 (k-l)		
2019年 9月	941.96	541.30		0.871 (k-l)		
2019年 10月	939.62	540.30		0.869 (k-l)		
2019年 11月	944.84	543.30		0.874 (k-l)		
2019年 12月	956.84	550.20		0.885 (k-l)		
2020年 1月	960.49	552.30		0.888 (k-l)		
2020年 2月				0.000 (k-l)		
2020年 3月				0.000 (k-l)		
合計	9,445,790 (kWh)	5,431,500 (m ³)	0.000	8,735 (k-l)		
(原油換算)	2,429 (k-l)	6,305 (k-l)				
3. <設備区分別>省エネルギー効果（原油換算）						
事業実施前	原油換算使用量	13,898 (k-l/年)	見込値			
事業実施後	原油換算使用量	10,750 (k-l/年)	10,482 (k-l/年)	実績値		
	削減率 (%)	10%				
	省エネルギー量	2,833 (k-l/年)	3,416 (k-l/年)			

設備区分毎に作成
してください

エネルギー種別毎に入力
してください

集計した[1か月毎]の
エネルギー使用量を転記
してください

毎月に入力した全てのエネルギー
使用量を原油換算した値が表示
されます。

毎月の入力値を基に、年間のエ
ネルギー使用量目安が表示され
ます。

<<「計画値」と、入力した月毎のエネルギー使用量の比較方法>>

- 「計測結果総括表」の「計画値」の「事業実施後 原油換算使用量」に入力した値（イメージ図では「10,750(kl/年)」を「12(か月)」で除し、1か月あたりのエネルギー使用量目安を算出します。
- この**目安**の値と、毎月に入力した全てのエネルギー使用量の「合計（原油換算）」に表示されている値とを比較します。
※ 設備区分が高効率空調（EHP・GHP）の場合、及び交付申請時に独自計算を使用していた場合（全設備区分）を除く。

なお、当該方法で把握できる値はあくまでも**目安**であり、**必ずしも1年後に算出する「省エネルギー量達成率」と連動する訳ではありません。**あらかじめご了承ください。

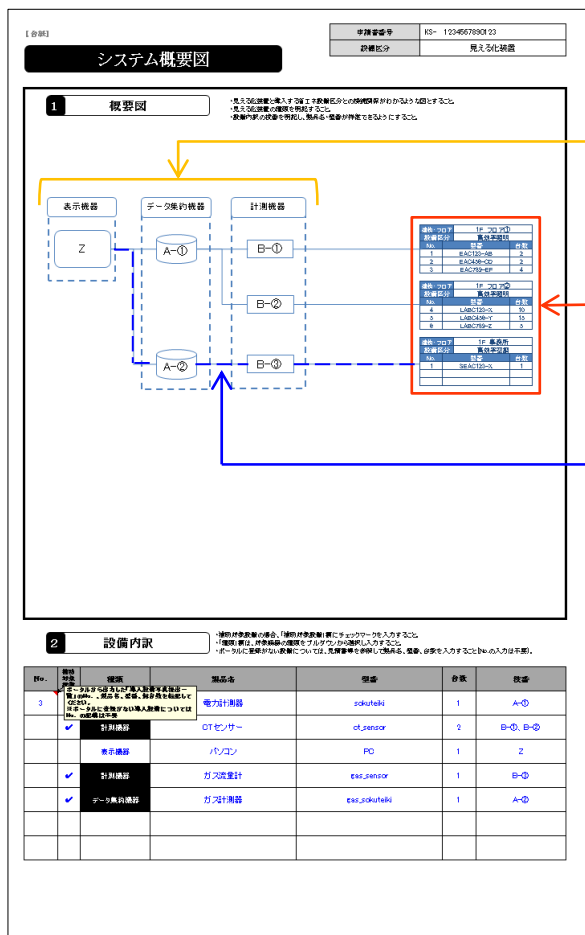
1-2 提出書類と提出期限

<<システム概要図について>>

実績報告時に作成・提出した「システム概要図」をコピーして、準備してください。実績報告以降、図示していた接続状況に変更があった場合は、必ず図面を更新してください。

なお、必要に応じて、接続状況等に関するより詳細なデータや帳票の提出を求める場合があります。あらかじめご承知おきください。

◆システム概要図（例）



図内の記載状況について、確認してください。

補助対象内、対象外にかかわらず、全ての「主要な装置」(*)が記載されている。

※ ①計測装置 ②データ集約機器 ③通信機器 ④制御装置 ⑤表示装置

本事業で導入した全ての設備（省エネルギー型設備、見える化装置）の「設備区分」、「型番」、及び「台数」が明記されている。

導入設備／見える化装置の接続関係が、接続線等で明示されている。
※ 内蔵型や全機能集約型の装置の場合、接続線の記載は不要です。

◆計測状況についての事前確認

- 各装置・機器の接続関係が不明な場合は、装置・機器を設置した事業者や、販売事業者を確認してください。
- 差分計測、混合計測を行っている場合は、「2-4 差分計測、混合計測を行う場合」も確認してください。

1-3 計測結果の集計例 (提出書類「添付1」サンプル)

■ [1か月毎] × [12か月分] のエネルギー使用量の示し方

[1時間以下単位]で計測したエネルギー使用量を[1か月毎]に集計し、更に[12か月分]にまとめます。

集計した月間のエネルギー使用量は前述の「計測結果総括表」にも記録し、毎月抜け漏れなく計測・記録してください。

※ 数字で示された各項目の詳細については、次ページの表を参照してください。

◆ [1時間以下単位] のエネルギー使用量 集計例

計測データ

② 申請番号: KS-1234567890123
 ③ 事業者名: 株式会社○○○
 ④ 事業所名: ○○事業所
 ④ 設備区分: 高効率照明

計測日時	計測ポイント	
	B-①	B-②
2019/12/1 0:00	0.00	0.00
2019/12/1 1:00	0.00	0.00
2019/12/1 2:00	0.00	0.00
2019/12/1 3:00	0.00	0.00
2019/12/1 4:00	0.00	0.00
2019/12/1 5:00	0.00	0.00
2019/12/1 6:00	0.00	0.00
2019/12/1 7:00	0.32	1.02
2019/12/1 8:00	0.32	1.02
2019/12/1 9:00	0.32	1.02
2019/12/1 10:00	0.64	2.05
2019/12/1 11:00	0.64	2.05
2019/12/1 12:00	0.64	2.05
2019/12/1 13:00	0.64	2.05
2019/12/1 14:00	0.64	2.05
2019/12/1 15:00	0.64	2.05
2019/12/1 16:00	0.64	2.05
2019/12/1 17:00	0.64	2.05
2019/12/1 18:00	0.64	2.05
2019/12/1 19:00	0.64	2.05
2019/12/1 20:00	0.32	1.02
2019/12/1 21:00	0.32	1.02
2019/12/1 22:00	0.32	1.02
2019/12/1 23:00	0.00	0.00
2019/12/2 0:00	0.00	0.00
2019/12/2 1:00	0.00	0.00

実測値 × [1か月分] を集計

◆ [1か月毎] × [12か月分] のエネルギー使用量 集計例

- ① 年間エネルギー使用量総括表
- ② 申請番号: KS-1234567890123
- ③ 事業者名: 株式会社○○○
事業所名: ○○事業所
- ④ 設備区分: 高効率照明
- ⑤ 計測期間: 2019年4月1日~2020年3月31日

<<特に重要なポイント>>

- ④ 設備区分毎に作成
 ⑥ [1か月毎]に記録
 ⑦ [1か月毎] × [12か月分]のエネルギー使用量合計を明記
 ⑧ エネルギー種別毎に作成

⑥ 計測月	電気使用量 (kWh)	⑧
2019年4月	943.10	
2019年5月	937.88	
2019年6月	932.67	
2019年7月	940.32	
2019年8月	948.67	
2019年9月	941.36	
2019年10月	939.62	
2019年11月	944.84	
2019年12月	956.84	
2020年1月	960.49	
2020年2月	951.62	
2020年3月	955.27	
⑦ 合計	11,352.69	

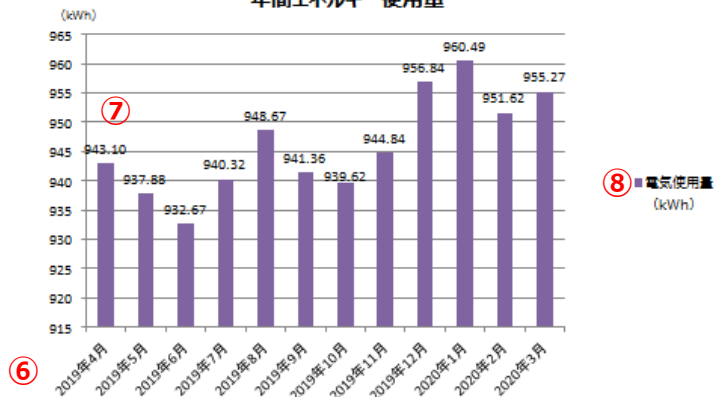
「計測結果総括表」
へ転記

「計測結果総括表」

• [1時間以下単位]で集計したデータを基に[1か月分]のエネルギー使用量を集計し、その作業を12か月間繰り返して[1年分]のエネルギー使用量を集計します。

• データ提出時は、集計したデータに上記例に示す項目②③④の内容を追記してください。

年間エネルギー使用量



1-3 計測結果の集計例（提出書類「添付1」サンプル）

<<報告すべき項目>>

以下、①～⑧が確認できる状態であること。

No.	必須情報	確認内容
①	帳票タイトル等	<ul style="list-style-type: none"> ・[12か月分]のエネルギー使用量を記録してある旨がわかる帳票名が明記されていることを確認してください（印字がない場合は追記してください）。
②	申請書番号	<ul style="list-style-type: none"> ・申請書番号を明記してください。
③	事業者名 事業所名	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量を計測した事業者名（補助事業者名）、及び事業所名を明記してください（印字がない場合は追記してください）。
④	設備区分	<ul style="list-style-type: none"> ・計測した省エネルギー型設備の設備区分名を明記してください（印字がない場合は追記してください）。
⑤	計測期間	<ul style="list-style-type: none"> ・「2019年4月～2020年3月」の12か月間であることを確認してください。
⑥	計測月	<ul style="list-style-type: none"> ・計測期間中（⑤の期間）の毎月計測・記録されていることを確認してください。
⑦	月間エネルギー使用量 （合計）	<ul style="list-style-type: none"> ・[12か月分]のエネルギー使用量の合計値が明示されていることを確認してください（印字がない場合は追記してください）。 ・グラフ等で表す場合は、[1か月毎]に[12か月分]の計測結果が数値で明示されていることを確認してください。
⑧	エネルギー種別	<ul style="list-style-type: none"> ・計測したエネルギー種別を明記してください。 ・エネルギー種別とともに、必ずエネルギー使用量を表す単位（m³、kWh等）を記載してください。 ・複数のエネルギー種別を導入した場合は、1つの表に並べて記載しても構いません（前ページの集計例において、⑧の「電気使用量」の右横に「ガス使用量」の列を追加する等）。

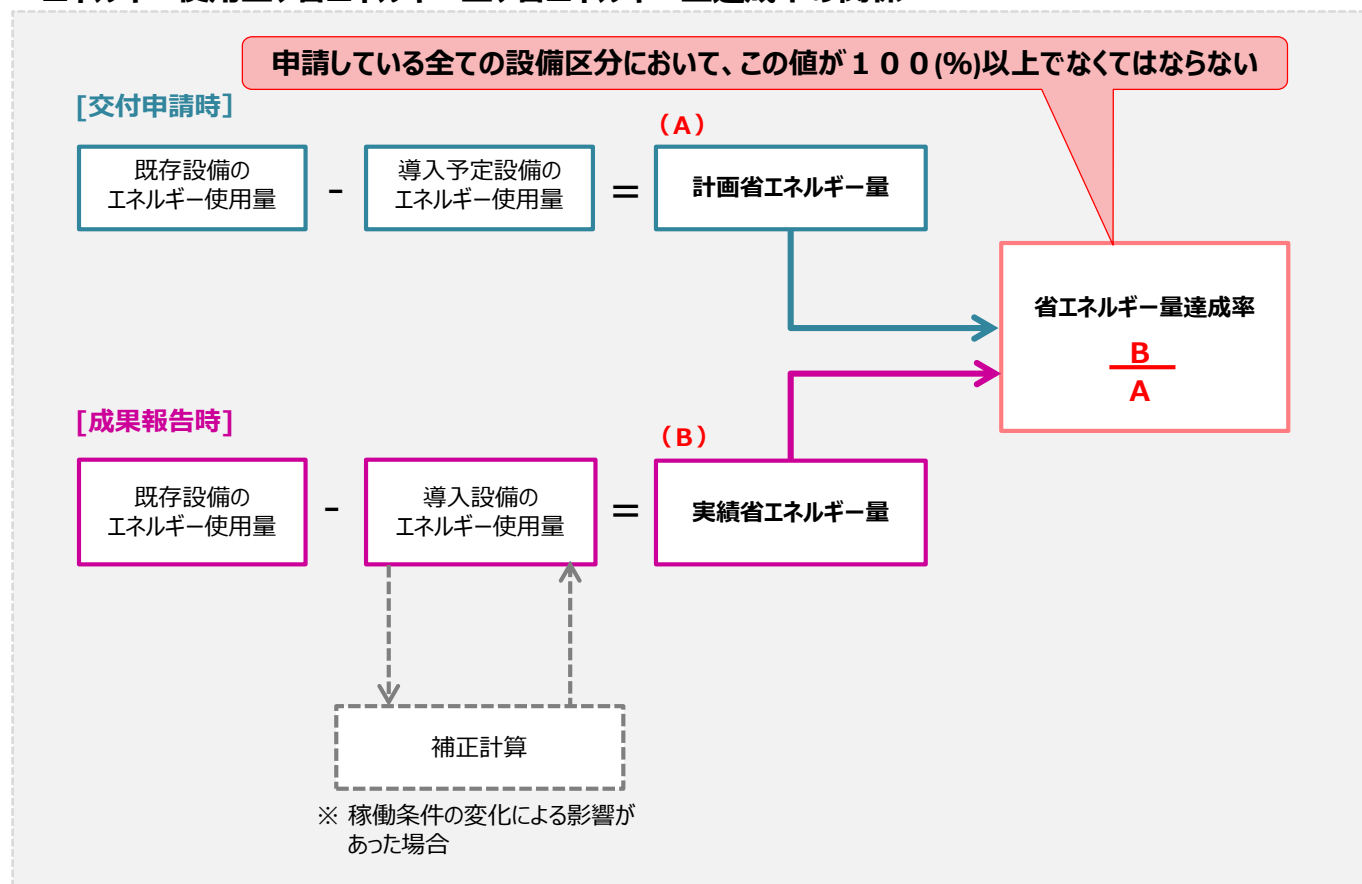
<参考> 省エネルギー量達成率について

本事業において「省エネルギー量を達成する」とは、下図に示す考え方に沿って計算した値が、申請している全ての設備区分において「100 (%)」以上である状態をいいます。

「省エネルギー量達成率」が100%未満（「実績省エネルギー量」が交付申請時に提出した「計画省エネルギー量」に対して未達）の場合、**支払い済みの補助金の返還を求める場合があります。**

なお、設備の導入前後で稼働条件の変化があり、エネルギー使用量に影響があった場合は、申請時点の稼働条件に合わせて「補正計算」を行い、同等の条件下でエネルギー使用量を比較できるようにしてください。補正計算の詳細については、「2-5 エネルギー使用量の補正」を参照してください。

<<エネルギー使用量、省エネルギー量、省エネルギー量達成率の関係>>



- ・ S I I に提出された申請や報告の情報は、事前告知を行わず、国、または S I I から公表される場合があります。
- ・ 導入設備に関する使用状況や、設備更新による事業効果等について国、または S I I から調査の依頼があった場合は、必ず協力してください。

第2章 2019年4月から 毎月実施する作業

計測期間中に毎月行う作業について、説明します

2-1 計測結果の集計・記録を始める前に

■ 準備するもの

2019年4月の集計・記録開始前に、下表に示す準備が全て整っていることを確認してください。

<<集計、記録に必要なもの>>

No.	準備するもの・書類等	条件、補足説明等
1	見える化装置	<p>見える化装置が、公募要領P.64に示す条件のとおりエネルギー使用量を計測していることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [設備区分毎]、[エネルギー種別毎]に計測できているか ● 1時間間隔以内のデータを計測できているか ● 計測結果を以下の条件で蓄積できているか（端末でデータを表示できているか） <ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間以内の単位での取得データ：1か月以上 ・ 1日以内の単位での取得データ：13か月以上 <div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>使用する見える化装置の操作方法については、見える化装置の製造メーカー、販売事業者、機器の設置事業者等にお問い合わせください。</p> </div>
2	システム概要図	見える化装置（計測機器）と省エネルギー型設備との接続状況を示すため、実績報告時にS I Iへ提出した「システム概要図」を準備してください。
3	計測結果総括表	<p>計測装置から出力したデータの[1か月分]の集計結果を、毎月記録する書類です。フォーマットはS I Iから提供します。採択者向けWEBからダウンロードしてください。</p> <p>※ ダウンロード後は、パソコン内のわかり易い場所（フォルダ）に保存する、印刷して計測装置の横に保管する等して、1年間継続して記録する準備を整えてください。</p> <p>※ 「計測結果総括表」の概要についてはP.12<<計測結果総括表について>>を、各項目の入力方法については「2-3 毎月実施する作業」-「(3) 集計した[1か月分]のエネルギー使用量を、「計測結果総括表」に転記する」を参照してください。</p>
4	成果報告の手引き（本書）	確認事項が発生したら直ぐに手にとれる場所へ保管し、随時確認してください。
5	出力・集計した計測結果を保存する為の記録媒体	見える化装置から出力した計測結果は、成果報告の提出（郵送）後も、S I Iからの問い合わせや関連機関による調査等に備えて保存してください。 <u>こまめにバックアップをとり、全データを欠損なく保存できるよう、十分に注意してください。</u>

2-2 集計・記録の基本的な流れ

■ 計測結果の集計・記録の基本的な流れ

計測結果の集計・記録の基本的な流れは以下のとおりです。**毎月必ず実施してください。**

<<集計・記録の手順>>

事前準備

システム概要図を手元に準備し、図面に記載された接続状況と、実際に計測する省エネルギー型設備と見える化装置の接続状況が一致していることを確認する
※ 前ページ<<システム概要図について>>を参照してください。

毎月実施する作業

(1) 計測期間1か月が経過したら、見える化装置で計測したエネルギー使用量データを保存する



(2) 保存したデータを、[1か月分]のデータに集計する



(3) 集計した[1か月分]のエネルギー使用量を、「計測結果総括表」に転記する
※ 「計測結果総括表」については、P.12 <<計測結果総括表について>>を参照してください。



(4) 2020年3月までの12か月間、手順(1)から手順(3)を繰り返す

※ 以降の手順については、2020年3月に追加された本手引き第3章、第4章を参照してください。



使用する見える化装置により、計測データの保存期間や、出力形式が異なります。

2019年4月の計測開始前に、成果報告として提出すべきデータや必要情報等をよく確認してください。不明点はS I Iへ連絡する等して解決し、必ず欠損のない12か月分(1年分)のデータを集計・保存してください。

2-3 毎月実施する作業

■ 毎月実施する作業の詳細

2019年4月に計測を開始してから2020年3月まで、毎月実施する作業は、以下のとおりです。

(1) 見える化装置で計測したエネルギー使用量データを保存する

見える化装置から全ての省エネルギー型設備（補助対象設備）のエネルギー使用量の計測結果を出力し、保存してください。

※ [1時間以下単位]で計測されていることが必要です。

※ 出力形式は、使用する見える化装置によって異なります。

※ 必ず、本事業で導入した全ての設備について計測・出力されていることを確認してください。

(2) 保存したデータを、[1か月分]のデータに集計する

(1) で保存した[1時間以下単位]のデータを[1か月分]に集計し、保存してください。

※ 計測結果の集計イメージについては、「1-3 計測結果の集計例（提出書類「添付1」サンプル）」を参照してください。

※ 見える化装置から直接[1か月分]として集計された結果を出力できる場合は、集計作業を行わなくても構いません。

(3) 集計した[1か月分]のエネルギー使用量を、「計測結果総括表」に転記する

次ページの表<<項目名と入力内容>>を参照し、計測結果総括表の各計測月の欄へ[1か月分]の集計結果を転記してください。

※ 「計測結果総括表」は設備区分毎に作成します。複数の設備区分を導入した場合は、設備区分と同数の総括表を作成し、毎月更新することになります。記載漏れや計測漏れが発生しないように十分に注意してください。

※ [1か月分]の計測結果を確認し、計画時と実測時とで稼働条件が異なっていた場合は、変化の理由を把握するとともに、理由を説明できる資料を保管しておいてください。

※ 見える化装置から直接[1か月分]として集計された結果を出力できる場合は、「計測結果総括表」への転記は必須ではありません。

平成29年度補正予算 省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業
計測結果総括表

申請番号：KS- 000123456789

設備使用者 株式会社○○○
事業実施場所 ○○事業所

1. 設備区分
設備区分 高効率空調

2. <使用エネルギー別>エネルギー使用量実績、及び計測データ確認

使用エネルギー	エネルギー使用量		エネルギー使用量		計測データ	計測データ	計測データ	計測データ
	登録電圧	都市ガス (45MJ/m ³)	都市ガス (45MJ/m ³)	都市ガス (45MJ/m ³)				
単位	kWh	m ³						
換算換算係数	9.37	45.00						
2019年 4月	943.10	542.30						0.872 (k)
2019年 5月	937.88	539.30						0.867 (k)
2019年 6月	932.67	536.30						0.863 (k)
2019年 7月	940.32	540.70						0.870 (k)
2019年 8月	948.67	545.50						0.877 (k)
2019年 9月	941.36	541.30						0.871 (k)
2019年 10月	939.62	540.30						0.869 (k)
2019年 11月	944.04	543.30						0.874 (k)
2019年 12月	956.84	550.20						0.885 (k)
2020年 1月	960.49	552.30						0.888 (k)
2020年 2月								0.000 (k)
2020年 3月								0.000 (k)
合計	9,445.790 (kWh)	5,481.900 (m ³)						8.735 (k)
(原油換算)	2,429 (k)	6,905 (k)						8.735 (k)

3. <設備区分別>省エネルギー効果 (原油換算)

事業実施場所	原油換算使用量			
	計画値	見込値	実績値	
事業実施場所	原油換算使用量	10,750 (k)	10,482 (k)	8,734 (k)
	削減 (%)	10%		
	省エネルギー量	2,833 (k)	3,416 (k)	

※ 各項目の詳細については、次ページの表を参照してください。

2-3 毎月実施する作業

<<項目名と入力内容>>

No.	項目名	種別	入力内容
①	申請書番号	入力	申請書番号を入力してください。
②	設備使用者 事業実施場所	入力	設備使用者（補助事業者）名、及び事業所名を入力してください。
③	設備区分	選択	設備区分を選択してください。
④	エネルギー 使用量 計測データ 確認 及び	使用エネルギー	選択した設備区分が使用するエネルギー種別を選択してください。 ※ 使用エネルギーが複数ある場合は、列を改めて全ての種別を選択してください。
⑤		エネルギー使用量	見える化装置から出力した計測結果を参照し、[1か月毎]のエネルギー使用量を入力してください。 ※ エネルギー種別毎（上記④）に入力してください。
⑥		計測データ	[エネルギー種別毎]、かつ[1か月毎]に、計測したエネルギー使用量のデータを保存したら、「○」を入力してください。
⑦	省エネルギー 効果 (原油換算)	事業実施前	交付申請書類の「1-2 省エネルギー計算(総括表)」から、以下3点を設備区分毎に転記してください。 ① 事業実施前 原油換算使用量(kl/年) ② 事業実施後 原油換算使用量(kl/年) ※申請時の計画値 ③ 裕度(%) ※ 計画変更を行った場合は、計画変更後の値を入力してください。
⑧		事業実施後	

(4) 2020年3月までの12か月間、手順(1)から手順(3)を繰り返す

手順(1)から手順(3)までを毎月繰り返し、1年間のエネルギー使用量を集計・記録してください。

毎月実施する作業は、以上です。

2-4 差分計測、混合計測を行う場合

■ 差分計測、混合計測について

見える化装置に補助対象設備と補助対象外の設備の両方が接続されている場合（差分計測／混合計測）であっても、成果報告として、省エネルギー型設備（補助対象設備）のエネルギー使用量を[設備区分毎]、かつ[エネルギー種別毎]に計測するルールは変わりません。

いずれの場合も、①補助対象外の設備と見える化装置の接続関係を明示した上で、補助対象外の設備のエネルギー使用量を示すとともに（根拠書類の提出が必要）、②合理的な計算により補助対象設備のエネルギー使用量を算出し、報告する必要があります。

<<差分計測>>

全ての設備を計測する機器のほかに、補助対象外の設備のエネルギー使用量を計測する機器を接続している場合

◆計測・算出方法

補助対象設備の計測機器（下図のA）で補助対象設備のエネルギー使用量を計測するとともに、補助対象外の設備の計測機器（下図のB）で補助対象外の設備のエネルギー使用量を、補助対象設備と同じ条件で計測してください。

A、Bそれぞれの計測機器から計測結果を出力し、保管しておいてください。

◆提出する書類

A、Bそれぞれの計測機器から出力した計測結果を、補助対象設備と対象外の設備の差分を示す根拠資料として、両方提出してください。

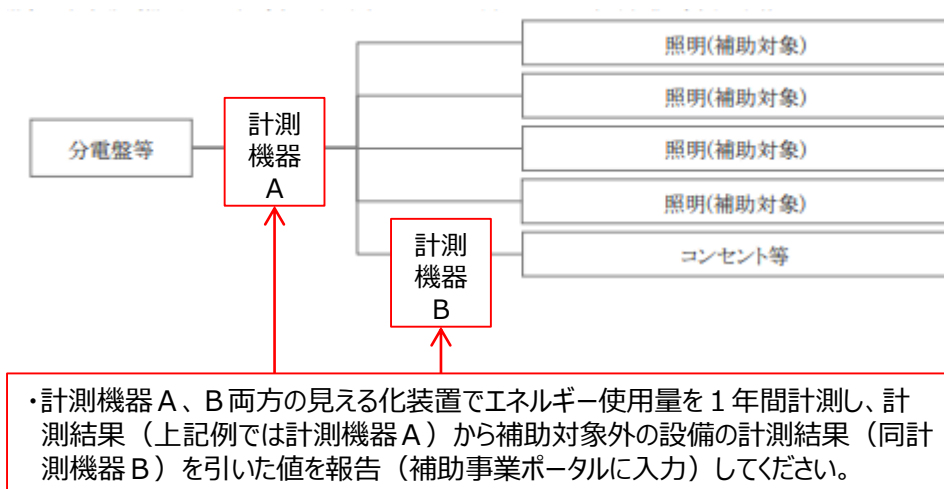
※ 提出する証憑書類の詳細については、第3章「3-1 計測結果入力始める前に」を参照してください。

◆計測結果の報告方法

「計測結果総括表」の「エネルギー使用量」欄（P.21-22の⑤）、及び2020年3月に公開された補助事業ポータルには、全体の計測結果（下図のA）から、補助対象外の設備の計測結果（下図のB）を、月毎に引いた値を入力してください。

※ [1時間以下単位]の計算においては、差分の算出は不要です。

※ 補助事業ポータルへのデータ入力の詳細については、第3章以降を参照してください。



2-4 差分計測、混合計測を行う場合

<<混合計測>>

同一の計測機器に、補助対象設備と補助対象外の設備の両方が接続されている場合

◆計測・算出方法

計測機器（下図のA）で、接続された全ての設備のエネルギー使用量を計測後、補助対象外の設備のエネルギー使用量を合理的に計算し、全ての設備のエネルギー使用量から毎月に差し引いて、補助対象設備のエネルギー使用量を算出してください。

Aの計測機器から計測結果を出力するとともに、補助対象外の設備のエネルギー使用量を算出した根拠資料（計算式等）を揃えて、両書類を保管しておいてください。

◆提出する書類

Aの計測機器から出力した結果とともに、補助対象外の設備のエネルギー使用量を合理的に算出した根拠資料（計算式等）、及び当該根拠に基づき計算した12か月分のデータを提出してください。

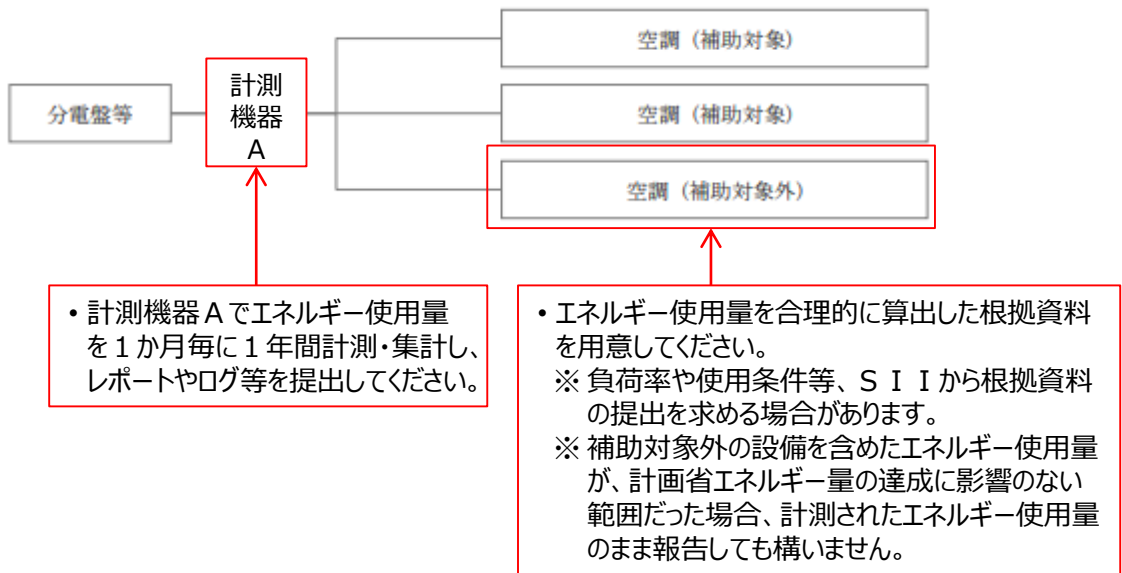
※ 提出する証憑書類の詳細については、第3章「3-1 計測結果入力始める前に」を参照してください。

◆計測結果の報告方法

「計測結果総括表」の「エネルギー使用量」欄（P.21-22の⑤）、及び2020年3月に公開された補助事業ポータルには、全体の計測結果（下図のA）から、[合理的に算出した補助対象外の設備のエネルギー使用量]を毎月に引いた値を入力します。

※ [1時間以下単位]の計算においては、差分の算出は不要です。

※ 補助事業ポータルへのデータ入力の詳細については、第3章以降を参照してください。



2-5 エネルギー使用量の補正

■エネルギー使用量の補正（補正計算）とは

「エネルギー使用量の補正」とは、設備の導入後に、エネルギー消費に関連する状況の変化があった場合に、交付申請時点の稼働条件に合わせて補正を行い、正しい実績省エネルギー量を求めることをいいます。

なお、補正計算を行う場合、補正係数と導入設備のエネルギー使用量に密接な関係があることが前提です。例えば、産業ヒートポンプ、ボイラ、給湯器等は、基本的に運転時間と運転日数による補正はできません。

<補正計算を行う方法 >

補正計算は補助事業ポータル上で行い、その方法には、以下の2種類（①、②）があります。

① 簡易補正（以下条件に該当する場合に利用可）

補正を必要とする全ての月で、補正方法（補正を行う原因となった条件 = 運転時間、運転日数、及び生産量）が同じ場合。変更の内容を、補助事業ポータルに入力して補正値を算出する。

補助事業ポータルにおける表記は、「有り（簡易）」。

② 独自補正（以下2つのいずれかに該当する場合に利用可）

・補正を必要とするそれぞれの月で、補正方法（同上）が異なる、又は混在する場合。

・事業者独自の方法で計算し、計算結果を補助事業ポータルに入力する場合。

補助事業ポータルにおける表記は、「有り（独自）」。

原則①を選択するものとし、①に示す補正条件以外の要因があった場合のみ、②を選択してください。

なお、「簡易補正」、「独自補正」の名称は、交付申請時の計算方法（指定・独自）との関連はありません。

例えば、独自計算で申請を行っていても、補正計算の方法で「有り（簡易）」を選択することもできます。

以降に、補正計算を行う例を示します。

■簡易補正の例

設備の導入後に、以下の例に示すようなエネルギー消費に関連する状況の変化があった場合に、これらを補正係数として計算を行う方法です。

- ・導入設備の運転時間（時間）、運転日数（日数）が計画時と異なる場合
- ・導入設備の蒸気発生量（t）が計画時と異なる場合
- ・当該導入設備による成果物の生産量（t）が計画時と異なる場合

例1 生産量が申請時点よりも増加した場合 ※ $11,000.0\text{kl} \times \frac{10,000.0\text{t}}{12,000.0\text{t}} = 9,166.6\text{kl}$ (補正係数)

	2018年12月 (設備導入前)	2019年12月 (設備導入後)	エネルギー使用量
生産量	10,000.0t	12,000.0t	-
エネルギー使用量	(補正前)	11,000.0kl	+1,000.0kl
	(補正後)	9,166.6kl [*]	▲833.4kl

例2 運転時間(日数)が申請時点よりも増加した場合 ※ $2,500.0\text{kl} \times \frac{1,000\text{h}}{1,500\text{h}} = 1,666.6\text{kl}$ (補正係数)

	2018年12月 (設備導入前)	2019年12月 (設備導入後)	エネルギー使用量
月間運転時間	1,000h	1,500h	-
エネルギー使用量	(補正前)	2,500.0kl	+500.0kl
	(補正後)	1,666.6kl [*]	▲333.4kl

2-5 エネルギー使用量の補正

<証憑例>

エネルギー使用量の補正を行う場合は、計算の根拠となる資料を併せて提出してください。
また、提出時には、それぞれの書類に示された「運転時間」、「運転日数」、及び「生産量」に、マーカー等で分かりやすいように印をつけて提出してください。

■ 証憑書類の条件

運転時間、運転日数、及び生産量を毎日に記録した管理表や日誌・日報等であり、以下2点の条件を満たしていること。

- ① 補正計算を行う月の記載があること。
- ② 補正計算を行う対象月と前年同月それぞれにおいて、運転時間、運転日数、及び生産量がわかる書類であること。
- ③ 管理責任者の印を取得していること。

※ 提出する証憑書類の詳細については、第3章「3-1 計測結果入力を始める前に」-「5.補正計算を行ったか？」を参照してください。

※ 証憑書類は、補正計算を行う対象月毎に、個別に作成し、提出してください。

補正係数として「運転時間」を用いる場合の証憑例（運転時間管理表）

補正計算を行う対象月と、前年同月、両年度分の管理表等を提出してください。



補正に用いる値（補正理由）として上記例に示した以外のその他の要因や、複数要因によって補正する場合は、別途次ページ「■ 独自補正の例」の「■ 証憑書類の条件」を満たす資料を用意し、提出してください。

2-5 エネルギー使用量の補正

■ 独自補正の例

前述の簡易補正で示す補正条件が月毎に異なる場合や、前述の条件以外の要因で計測値への影響を合理的に除外したり、補正する要因、根拠や計算過程に説明の必要がある場合に、事業者独自の補正計算を行う方法です。以下に、独自補正を行う場合の証憑書類の条件、及び独自補正が必要となる場合の例を、示します。

■ 証憑書類の条件

以下2点の条件を満たしていること。

- ① 補正計算を行う月の記載がある書類であること。
- ② 補正の必要性や値の算出根拠を合理的に説明できる資料であること。

補正する理由や経緯、補正方法の考え方について記述してください。
 そのうえで、計算過程を電卓で計算できる程度に分かり易く説明し、計算結果を示してください。
 なお、補正計算に使用する証憑書類も併せて提出してください。

※ 提出する証憑書類の詳細については、第3章「3-1 計測結果入力を始める前に」-「5.補正計算を行ったか？」を参照してください。

※ 証憑書類は、補正計算を行う対象月毎に、個別に作成し、提出してください。

■ 提出する証憑書類の例（計測値に影響したエネルギー量が合理的に説明できる場合の例）

設備区分：高性能ボイラ

補正計算を行う月：6月、9月

補正の理由：

6月・・・蒸気発生量が増加した場合

9月・・・燃料配管の破損によりガスの漏洩がみられた場合

<提出が必要となる証憑>

6月の根拠書類

- ① 更新前の当月の蒸気発生量がわかる書類
- ② 更新後の当月の蒸気発生量がわかる書類
- ③ 更新前後の蒸気発生量を基にエネルギー使用量を補正した計算過程を記した書類

9月の根拠書類

- ① 破損の概要
- ② 破損によるエネルギー使用量の増減量（算出の考え方、根拠含む）
- ③ エネルギー使用量の増減量を加味した値を記した書類

※ 2020年3月版より追加 (全ページ追加のため、文字色は通常色の黒を基本としています)

第3章 補助事業ポータルへの入力、書類の印刷


1 年間計測したエネルギー使用量を補助事業ポータルに入力し、書類を印刷する手順について説明します

3-1 計測結果入力を始める前に

■ 測定結果の確認

2019年4月～2020年3月までの間計測した毎月のエネルギー使用量を補助事業ポータルに入力するに先立ち、1年間の計測結果を示す書類を手元に揃えます。
 下表の5つの項目について表に記載の「詳細ページ」をよく確認し、全ての書類が整ったら「3-2 補助事業ポータル入力内容と作成する書類」に進んでください。

<<計測結果を示す書類と確認事項>>

No.	確認事項	済	条件、補足説明等
1	エネルギー使用量の計測記録が1年間分揃っているか？	<input type="checkbox"/>	2019年4月～2020年3月までの間で測定した、設備のエネルギー使用量の測定結果が記載された証憑書類を手元に用意してください。 ※ <u>用意する必要のある書類の種類や内容、集計のイメージ等の詳細については、「1-3 計測結果の集計例（提出書類「添付1」サンプル）」を参照してください。</u> ※ GHP（チラー含む）、又は節電型吸収式冷凍機を導入していた場合、又はエネルギー種別としてLPGを使用していた場合は、後述P.31を参照してください。
2	システム概要図について、実績報告で提出した時点から変更が生じていないか？	<input type="checkbox"/>	実績報告で提出したシステム概要図と、成果報告時の設備の接続状況を見比べ、システム概要図に更新が発生しないか、確認してください。 ➤ システム概要図が更新不要である場合は、現在手元にあるシステム概要図の写しを、成果報告でも提出してください。 ➤ システム概要図の更新が必要となる場合は、最新の図面を作成し、提出してください。 ※ 更新用の「システム概要図」のフォーマットは、S I Iより提供します。システム概要図を更新する場合は、必ずS I Iへ連絡してください。 なお、 <u>システム概要図の考え方の詳細については、「1-2 提出書類と提出期限」- <<システム概要図について>>を参照してください。</u>
3	差分計測を行ったか？	<input type="checkbox"/>	差分計測を行った場合は、S I Iが提供する「差分計測結果総括表」を作成、提出してください。 ※ 「差分計測総括表」はS I Iより提供します。差分計測を行った場合は、必ずS I Iへ連絡してください。 ※ <u>差分計測の考え方等詳細については、前述「2-4 差分計測、混合計測を行う場合」の<<差分計測>>を参照してください。</u>
4	混合計測を行ったか？	<input type="checkbox"/>	混合計測を行った場合は、計測機器に接続された全設備のエネルギー使用量の値をS I Iが提供する「計測結果総括表」に転記し、また、補助対象設備のエネルギー使用量を合理的に算出した結果とその計算式を自由書式でそれぞれまとめ、それらの結果から補助対象設備のエネルギー使用量を導き出して、結果、及び計算式と計算式の根拠を提出してください。 ※ 「計測結果総括表」は、採択者向けWEBよりダウンロードしてください。 ※ <u>混合計測の考え方等詳細については、「2-4 差分計測、混合計測を行う場合」の<<混合計測>>を参照してください。</u> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;">  混合計測において補助対象設備分のエネルギー使用量を算出する段階については、S I Iからのフォーマット提供はありません。 </div>
5	補正計算を行ったか？	<input type="checkbox"/>	補正計算が必要である場合は、S I Iが提供する「計測結果総括表【補正值】」を作成し、提出してください。 ※ 「計測結果総括表【補正值】」は、採択者向けWEBよりダウンロードしてください。 ※ <u>補正計算の考え方等詳細については、「2-5 エネルギー使用量の補正」を参照してください。</u>


次ページより、上記No. 1～5の各項目について、説明します。

3-1 計測結果入力を始める前に

「1. エネルギー使用量の計測記録が1年間分揃っているか？」

2019年4月～2020年3月までの間で測定した、設備のエネルギー使用量の測定結果が記載された証憑書類を手元に用意してください。

計測したエネルギー使用量データを、以下2つの種類に集計した書類が必要です。



本事業の成果報告における使用エネルギーの計測期間は、必ず2019年4月～2020年3月までの「1年間」です。計測期間がこの1年間に満たない場合、又は測定データ自体に欠損がある場合は、S I Iへ連絡してください。

1. [1か月毎]×[12か月分]のエネルギー使用量のデータ

集計イメージや必要情報の詳細については、前述「1-3 計測結果の集計例（提出書類「添付1」サンプル）」を参照してください。

※ S I I フォーマット「計測結果総括表」を使用して毎月の計測データを記録していた場合は、P.12 <<計測結果総括表について>>をよく確認し、計測値やその他必要事項に入力漏れがないことを確認のうえ、提出してください。

2. [1時間以下単位]で取得したエネルギー使用量のうち、設備が稼働していた日のデータ（2日分）

- 上記「[1か月毎]×[12か月分]のエネルギー使用量のデータ」から、見える化装置による計測が行われていたことの証明として任意の2日分を抜き出して提出してください。**抜き出す際は、連続2日等ではなく、例えば夏季と冬季／上期と下期で1日ずつ等、年間を通して計測していることを示せる2日を選択してください。**
- 導入した省エネルギー型設備に接続されている全ての計測機器毎に集計し、提出してください（P.13のシステム概要図の例では、「計測機器」の3台分の提出が必要）。

以下に、上記2つの書類、及びS I Iフォーマットである「計測結果総括表」の関係を示します（P.14再掲）。各データに整合性があり、エネルギー使用量の計測結果として提出する証憑書類として正しいか、よく確認してください。

【1年間の計測結果を示す証憑書類の関係】

1. [1か月毎]×[12か月分]のエネルギー使用量のデータ

年間エネルギー使用量総括表

申請番号： KS-1234567890123
 事業名： 株式会社○○○
 事業所： ○○事業所
 設備区分： 高効率照明
 計測期間： 2019年4月1日～2020年3月31日

計測月	電気使用量 (kWh)
2019年4月	943.10
2019年5月	937.85
2019年6月	932.67
2019年7月	940.32
2019年8月	948.67
2019年9月	941.36
2019年10月	939.62
2019年11月	944.84
2019年12月	956.84
2020年1月	960.49
2020年2月	951.62
2020年3月	955.27
合計	11,352.69

「計測結果総括表」へ転記

1※ 計測結果総括表 (S I Iフォーマット)

計測結果総括表 (S I Iフォーマット) のスクリーンショット。表には申請番号、事業名、事業所、設備区分、計測期間などの入力欄があり、下部には計測データの入力欄が複数用意されている。

2. [1時間以下単位]で取得したエネルギー使用量のうち、設備が稼働していた日のデータ（2日分）

計測データ

申請番号： KS-1234567890123
 事業名： 株式会社○○○
 事業所： ○○事業所
 設備区分： 高効率照明

計測日時	計測ポイント	
	B-①	B-②
2019/11/0:00	0.00	0.00
2019/12/1:00	0.00	0.00
2019/12/1:2:00	0.00	0.00
2019/12/1:3:00	0.00	0.00
2019/12/1:4:00	0.00	0.00
2019/12/1:5:00	0.00	0.00
2019/12/1:6:00	0.00	0.00
2019/12/1:7:00	0.32	1.02
2019/12/1:8:00	0.32	1.02
2019/12/1:9:00	0.32	1.02
2019/12/1:10:00	0.64	2.05
2019/12/1:11:00	0.64	2.05
2019/12/1:12:00	0.64	2.05
2019/12/1:13:00	0.64	2.05
2019/12/1:14:00	0.64	2.05
2019/12/1:15:00	0.64	2.05
2019/12/1:16:00	0.64	2.05
2019/12/1:17:00	0.64	2.05
2019/12/1:18:00	0.64	2.05
2019/12/1:19:00	0.64	2.05
2019/12/1:20:00	0.32	1.02
2019/12/1:21:00	0.32	1.02
2019/12/1:22:00	0.32	1.02
2019/12/1:23:00	0.00	0.00
2019/12/2:0:00	0.00	0.00
2019/12/2:0:00	0.64	2.05

実測値
 1か月分
 年集計

<参考> 使用したエネルギー種別毎の注意事項

(1) 【GHP（チラー含む）、又は節電型吸収式冷凍機を導入していた場合】

GHP（チラー含む）、又は節電型吸収式冷凍機を導入していた場合は、ガスの使用量（油を使用している場合は油の使用量）の他に、電力使用量を報告する必要があります。

1. 電気を、見える化装置で計測していた場合

ガス（油）、及び電力の使用量を報告してください。

2. 電気を、見える化装置で計測していなかった場合

ガス（油）の使用量から、電力使用量を計算して報告する必要があります。
電力使用量を計算する方法については、S I Iへ相談してください。

(2) 【L P Gを使用していた場合】

計測結果総括表（S I Iフォーマット）では、L P Gは単位が「k g」で原油換算されています。
計測データの単位が「k g」ではなかった場合は、計測結果総括表に入力する前に単位換算が必要ですので、注意してください（計測結果総括表には、単位換算後の値を入力してください）。

※ 単位換算に際しての参考

プロパンの場合	: 1. 9 9 kg/m ³
ブタンの場合	: 2. 8 2 kg/m ³

3-1 計測結果入力を始める前に

「2. システム概要図について、実績報告で提出した時点から変更が生じていないか？」

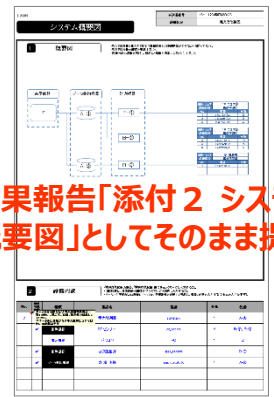
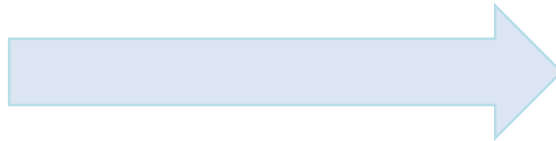
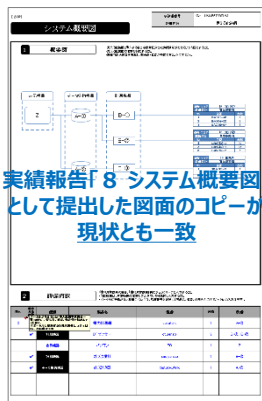
実績報告で提出した「8 システム概要図」をコピーして手元に用意してください。

1年間、エネルギー使用量を計測していた間における補助対象設備を中心とした設備の接続状況が、用意した「8 システム概要図」の記載内容と比べて変更がないか、確認してください。

【システム概要図と接続状況の確認、及びその後の対応】

1. 手元の「8 システム概要図」と、実際の接続状況が一致している場合

手元の「8 システム概要図」のコピーを、そのまま成果報告「添付2 システム概要図」として提出してください。

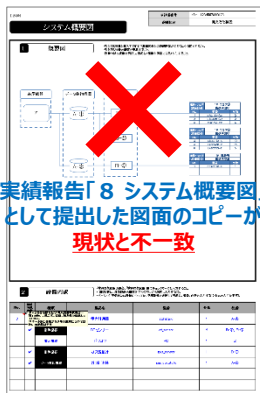


2. 手元の「8 システム概要図」と、実際の接続状況が異なっている場合

- ・システム概要図の更新が必要です。
- ・更新する場合は、更新用のフォーマットをS I Iより提供します。図面の更新の必要性が判明したら、至急S I Iへ連絡してください。
- ・システム概要図の作成方法の詳細については、別途公開済みの「実績報告の手引き」P.65～67を参照してください。

更新が必要な計測システムのみについて作成し、更新が不要な計測システムは実績報告時のシステム概要図をそのまま（コピーで）提出してください。

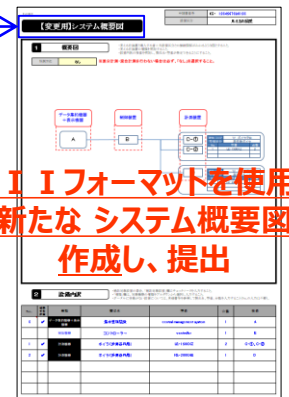
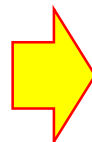
様式名が「**変更用システム概要図**」であることを必ず確認してください。



まずS I Iへ連絡

補助金申請に関するお問い合わせ窓口

- ◆ TEL : 0570-077-317 (ナビダイヤル)
- ※ I P 電話からのお問い合わせ
TEL : 042-303-4215
- ◆ 受付時間 : 平日の10:00～12:00、13:00～17:00 (土曜、日曜、祝日を除く)
- ※ 通話料がかかりますのでご注意ください。



3-1 計測結果入力を始める前に

「3. 差分計測を行ったか？」

差分計測（全ての設備を計測する機器のほかに、補助対象外の設備のエネルギー使用量を計測する機器を接続している場合に、補助対象設備、及び補助対象外の設備それぞれについて同一条件で計測したエネルギー使用量の差分を示す方法）を行った場合は、1年間記録していた計測結果を、S I I が提供するフォーマット「差分計測総括表」に転記して、提出してください。

- ただし、1年間の計測期間中に別途独自のフォーマットを使用して差分を記録していた場合は、事業者独自のフォーマットで提出しても構いません。
- 「差分計測総括表」はS I I より提供します。差分計測を行った場合は、必ずS I I へ連絡してください。



複数の設備区分がある場合は、設備区分毎に総括表を作成してください。

【差分計測結果総括表の作成手順】

1. S I I へ連絡し、「差分計測結果総括表」を入手する

2. 1年間の計測結果を「フォーマット 差分計測結果総括表」シートに、エネルギー種別毎、1か月毎に転記する

- 入手するファイルには、「フォーマット_差分計測結果総括表」と「フォーマット_計測結果総括表」の2種類のシートが用意されています。
- 「フォーマット_差分計測結果総括表」の左側の表に補助対象外の設備を含む全体の計測結果を、右側の表に補助対象外の設備の計測結果を入力してください。
- 「フォーマット_差分計測結果総括表」に入力した値が、「フォーマット_計測結果総括表」に転記されます。
※ [1時間以下単位]の計算においては、差分の算出は不要です。
※ 補助事業ポータルへのデータ入力の詳細については、次項「3-2 補助事業ポータル入力内容と作成する書類」以降を参照してください。

【差分計測結果総括表の関係】

【フォーマット_差分計測結果総括表】シート

補助対象外の設備の計測結果を、エネルギー種別毎に分けて入力（明記）します。

左側

右側

補助対象外の設備を含めた計測結果を、エネルギー種別毎に分けて入力（明記）します。

【フォーマット_計測結果総括表】シート

左図「フォーマット_差分計測結果総括表」シートから、必要情報、及び計測結果の値が転記されます。

3-1 計測結果入力を始める前に

「4. 混合計測を行ったか？」

混合計測（同一の計測機器に、補助対象設備と補助対象外の設備の両方が接続されている場合に、補助対象設備分、及び補助対象外の設備分それぞれの使用エネルギーをエネルギー種別毎に合理的に算出し、エネルギー使用量の差分を示す方法）を行った場合は、全ての接続された設備のエネルギー使用量を計測後、補助対象外の設備のエネルギー使用量を合理的に算出し、全計測結果から月毎に差し引いて算出した結果の値（補助対象設備のエネルギー使用量）と、その算出の根拠資料を提出してください。

- ・計測機器に接続された全設備のエネルギー使用量合計は、S I Iフォーマットである「計測結果総括表」に入力して提出してください。
- ・混合計測を行った場合に補助対象設備分のエネルギー使用量を算出する段階については、S I Iからのフォーマット提供はありません。

【混合計測結果の提出資料作成手順】

1. 採択者向けWEBから「計測結果総括表」をダウンロードし、「計測結果総括表」を作成する

- ・集計イメージや必要情報の詳細については、「1-3 計測結果の集計例（提出書類「添付1」サンプル）」を参照してください。

2. 補助対象外の設備のエネルギーを1か月毎に合理的に算出し、計算の考え方・根拠、及び算出した値と計算式を計算過程の説明資料としてまとめる

- ・計算式は、計算過程を電卓で計算できる程度に分かり易く説明し、計算結果を示してください。
- ・計算に用いた根拠書類（製品カタログ、仕様書、運転管理日誌、EMSログデータ等）も併せて提出してください。

3. 上記1.計測結果総括表と上記2.の値から、補助対象設備のエネルギー使用量を算出する

4. 上記3.の値と、計算式、及び計算式の根拠を、提出資料としてまとめる

【混合計測結果の提出資料作成手順】

上記手順1.「計測結果総括表」シート

計測機器に接続されている全ての設備（補助対象設備、補助対象外の設備）のエネルギー使用量計測結果を、1か月毎、エネルギー種別毎に転記します。

上記手順2.「計測過程の説明資料」

<計算過程説明書>

【補助対象外の設備】

補助対象外の設備の使用エネルギー量計算の考え方（計算過程の説明）を述べてください。

[4月] ○○kW × ○○h × ○○台 = ○○kWh
 [5月] ○○kW × ○○h × ○○台 = ○○kWh
 ↓
 [2月] ○○kW × ○○h × ○○台 = ○○kWh
 [3月] ○○kW × ○○h × ○○台 = ○○kWh
 [合計] ○○kWh

1か月×
12か月分

12か月分
の合計

【補助対象設備】

[4月] □□(全部)kWh - ○○(外)kWh = △△ kWh
 [5月] □□(全部)kWh - ○○(外)kWh = △△ kWh
 ↓
 [2月] □□(全部)kWh - ○○(外)kWh = △△ kWh
 [3月] □□(全部)kWh - ○○(外)kWh = △△ kWh
 [合計] □□ kWh

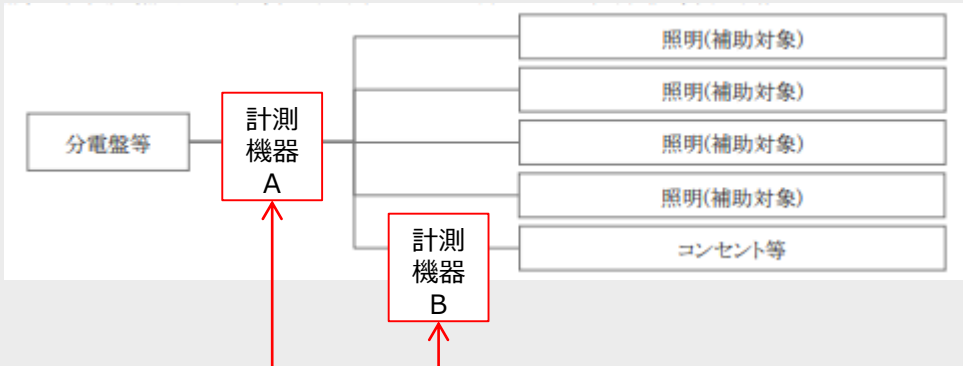
1か月×
12か月分

12か月分
の合計

原油換算前のエネルギー使用量を算出し、補助事業ポータルへ登録してください。

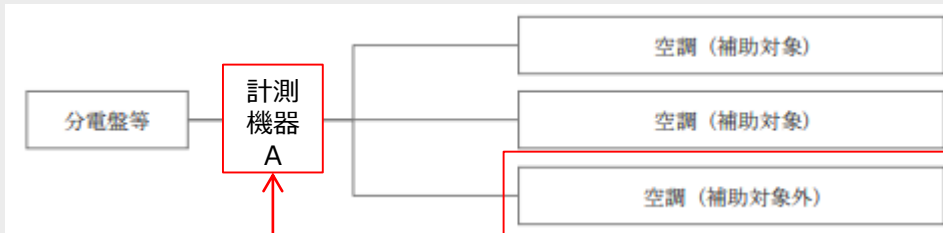
3-1 計測結果入力を始める前に

■参考（差分計測イメージ）



・計測機器 A、B 両方の見える化装置でエネルギー使用量を 1 年間計測し、計測結果（上記例では計測機器 A）から補助対象外の設備の計測結果（同計測機器 B）を引いた値を報告（補助事業ポータルへ入力）してください。

■参考（混合計測イメージ）



・計測機器 A でエネルギー使用量を 1 か月毎に 1 年間計測・集計し、レポートやログ等を提出してください。

・エネルギー使用量を合理的に算出した根拠資料を用意してください。
 ※ 提出された根拠資料以外にも、審査上、追加で説明や資料を別途求める場合があります。
 ※ 補助対象外の設備を含めたエネルギー使用量が、計画省エネルギー量の達成に影響のない範囲だった場合、計測されたエネルギー使用量のまま報告しても構いません。

3-1 計測結果入力を始める前に

「5. 補正計算を行ったか？」

補正計算が必要である場合は、S I I が提供する「計測結果総括表【補正值】」を作成し、提出してください。補正計算が「簡易補正」であるか、「独自補正」であるかによって、作成、提出する書類が異なります。

- 補正計算の考え方等詳細については、前述「2-5 エネルギー使用量の補正」を参照してください。

【簡易補正を行った場合の提出資料作成手順】

1. 採択者向けWEBから「計測結果総括表【補正值】（簡易補正）」をダウンロードする
2. ダウンロードした様式の[記入例]シートを参考に、必要な項目を入力して、総括表を作成する

- 補正が必要な月のみ、補正する値を入力してください。具体的には、計画値と実績値を並べて入力します。

⚠ 簡易補正は、補正を行う全ての月で同じ補正理由を用いる場合に限り、利用できます。

様式の右側にある青枠内の説明に従って、対応する数字（①～⑤）が示す項目に必要な情報を入力して作成してください。

各項目（①～⑤）を入力する際に参照してください。

- 書類提出時は、作成した「計測結果総括表【補正值】」に加えて、「2-5 エネルギー使用量の補正」-「■簡易補正の例」で示された証憑書類を、併せて提出してください（P.26参照）。
- 提出時は、補正計算に使用した箇所や値にマーカー等で印をつけてください。

【独自補正を行った場合の提出資料作成手順】

1. 採択者向けWEBから「計測結果総括表【補正值】（独自補正）」をダウンロードする
2. ダウンロードした様式の[記入例]シートを参考に、必要な項目を入力して、総括表を作成する

- 補正が必要となった月について、補正した値と、補正計算が必要な理由・根拠の概要を入力します。

⚠ 独自補正は、月毎に補正の理由が異なっても構いません。但し、補正計算を行うに至った理由と根拠を具体的に示す必要があります。

様式の右側にある青枠内の説明に従って、対応する数字（①～⑤）が示す項目に必要な情報を入力して作成してください。

各項目（①～⑤）を入力する際に参照してください。

- 書類提出時は、作成した「計測結果総括表【補正值】（独自補正）」に加えて、「2-5 エネルギー使用量の補正」-「■独自補正の例」で示された証憑書類を、併せて提出してください（P.27参照）。
- 提出時は、補正計算に使用した箇所や値にマーカー等で印をつけてください。

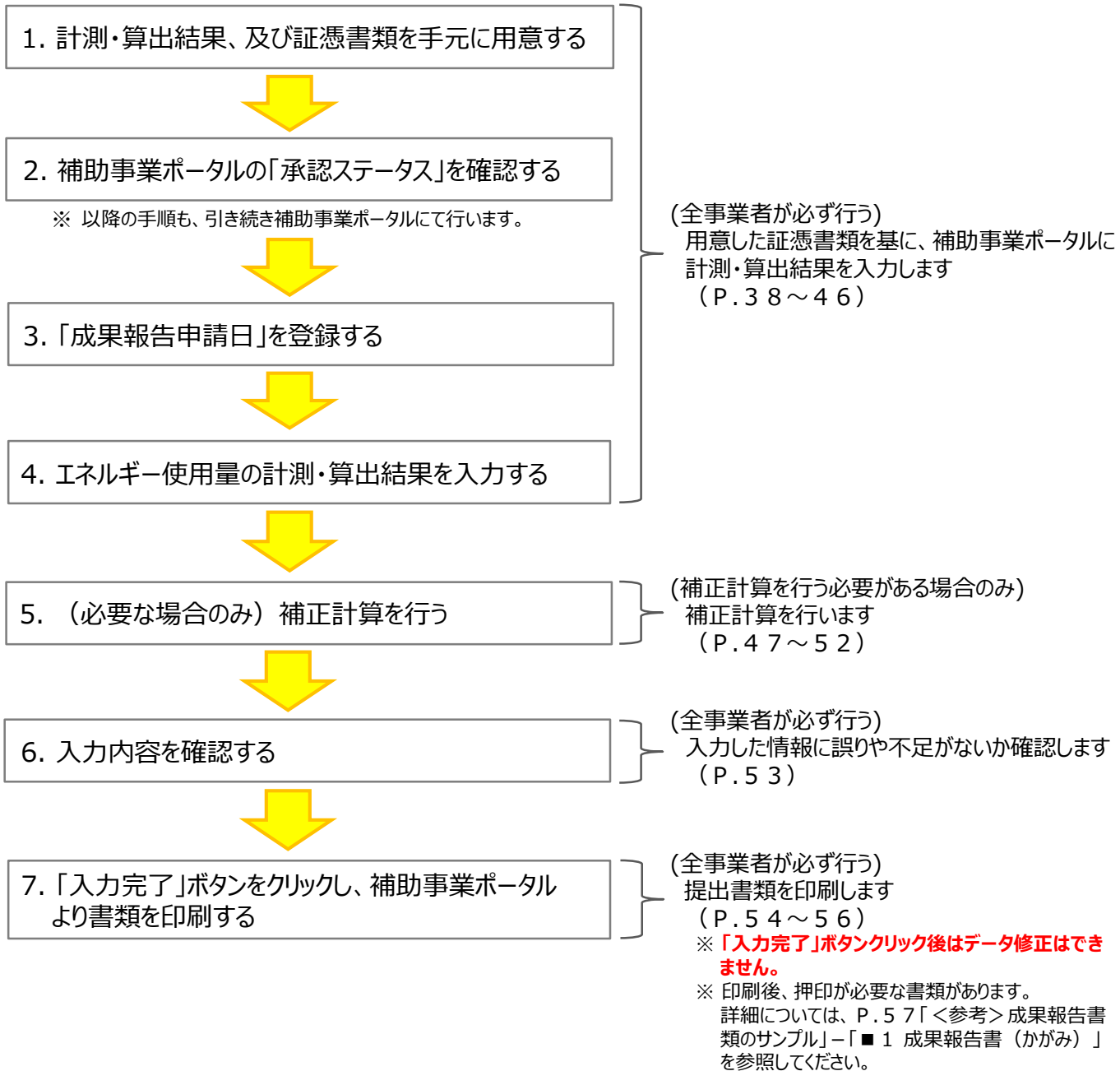
3-2 補助事業ポータル入力内容と作成する書類

■ 補助事業ポータルへのデータ入力の目的

1 年間計測・算出した設備のエネルギー使用量を補助事業ポータルに入力し、省エネルギー量達成率を算出します。また、入力した情報を基に、提出に必要な書類を作成、印刷します。

必要な情報の入力と成果報告書類の作成、印刷は、以下の手順で行います。

■ 成果報告データの入力と書類作成の手順



以降で、それぞれの手順の詳細について、説明します。

3-3 補助事業ポータル入力の準備

1. 計測・算出結果、及び証憑書類を手元に用意する

第2章で計測・算出した導入設備のエネルギー使用量（計測・算出結果）、及びその証憑書類を、手元に揃えます。

※ 用意する証憑書類の種類や内容については、「3-1 計測結果入力を始める前に」を参照してください。

2. 補助事業ポータルの「承認ステータス」を確認する

補助事業ポータルで計測・算出結果を入力する申請書番号の「承認ステータス」が「**支払確定**」であることを確認します。**以下に示す、「補助事業申請書検索」の検索結果画面、又は成果報告を作成する申請を選択した直後に表示される「申請書詳細 画面」のいずれかの画面表示を確認してください。**

※ 「支払確定」・・・実績報告書審査完了・成果報告を行うことができる状態

※ 上記「**支払確定**」以外のステータスが表示されている申請は、**成果報告を行うことができません**。S I I へ連絡してください。

【補助事業申請書検索】検索結果画面

承認ステータス：
[支払確定]

No	申請書詳細	申請書番号	事業者名	承認ステータス	成果報告ステータス
1	[詳細]	KS-██████	株式会社 ██████	支払確定	成果報告_仮登録

【申請書詳細 画面】

承認ステータス：
[支払確定]

申請書番号	KS-██████
交付決定通知番号	SI-██████
種別通知番号	
交付申請日	2018年03月21日
補助事業実行年次	29
課税区分	1
文書管理番号	
承認ステータス	支払確定

3-3 補助事業ポータル入力の準備

3. 「成果報告申請日」を登録する

成果報告書をS I Iへ郵送する日付を登録します。

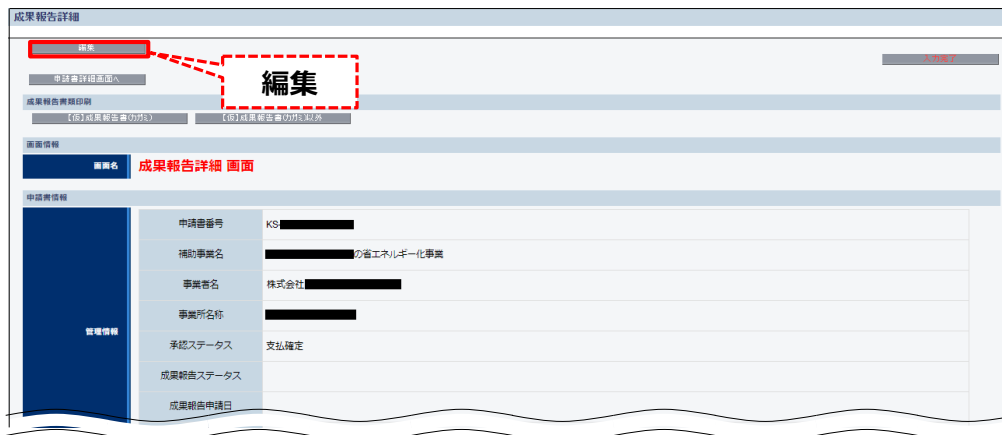
※ ここで登録した日付が、P.57掲載の「■1 成果報告書（かがみ）」に印字されます。
 入力後、日付を修正したい場合は、再度同じ手順で画面を開くことで、新たな日付を入力することができます。

1. 「申請書詳細 画面」上部の「成果報告詳細」ボタンをクリックします。



⇒ 「成果報告詳細 画面」が表示されます。

2. 「成果報告詳細 画面」の左上にある「編集」ボタンをクリックします。



⇒ 「成果報告登録 画面」が表示されます。

3-3 補助事業ポータル入力への準備

3. 表示される「成果報告登録 画面」で、「成果報告申請日」を入力します。
 ※ 「成果報告申請日」・・・本書で提出準備をする成果報告書（ファイル）を、S I Iへ郵送する日付。

「成果報告申請日」の空欄をクリックすると、カレンダーが表示されます。カレンダー上で月日をクリックすると、カレンダーが消えて、日付が自動入力されます。「今日」をクリックすると、ポータル入力作業をしているその日が自動入力されます。
 ※ 手入力で1月から9月までを入力する場合は、必ず先頭に「0」を付け、2桁にしてください。）

保存

⇒ 「成果報告詳細 画面」が表示されます。

4. 「成果報告詳細 画面」で、「成果報告ステータス」が「成果報告_仮登録」に変更されていること、及び「成果報告申請日」に入力した年月日が表示されていることを確認します。

成果報告ステータス：
成果報告_仮登録

成果報告申請日：
事業者が入力した年月日

上記2点を確認したら、計測・算出結果の入力に進みます。
 入力は、設備区分毎に行います。

3-4 計測・算出結果の入力（共通）

4. エネルギー使用量の計測・算出結果を入力する

P.38「1.計測・算出結果、及び証憑書類を手元に用意する」で用意した計測・算出結果の証憑書類を見ながら、補助事業ポータルに導入設備のエネルギー使用量を入力します。

1. 「成果報告詳細 画面」を下方へスクロールし、「省エネルギー実績総括表」欄で、エネルギー使用量データを入力する設備区分の「詳細」をクリックします。

省エネルギー実績総括表

下方へスクロール

No.	詳細	設備区分	事業実施前 エネルギー使用量	計画省エネルギー量		実績省エネルギー量			按分率	
				合計	削減率	実績値		補正		
						合計	達成率			補正後実績値 合計
1	高効率照明		0.956kI	0.466kI	48.7%	0.593kI	127.2%	-	-	0.4%
	高効率空調		168.063kI	113.362kI	67.4%	167.405kI	147.6%	-	-	98.4%
3	冷暖冷蔵設備		338.158kI	1.331kI	0.3%	1.375kI	103.3%	-	-	1.1%
事業全体の合計			507.177kI	115.159kI	22.7%	169.373kI	147.0%	-	-	-

2. 表示される「成果報告エネルギー使用量詳細 画面」で、「編集」をクリックします。

編集

3-4 計測・算出結果の入力（共通）

3. 下図、及び次ページの説明を参照し、必要項目を入力します。

成果報告エネルギー使用量編集

戻る 保存

* は入力必須項目です。

画面情報

画面名 成果報告エネルギー使用量編集 画面

申請書情報

申請書番号 KS- []

補助事業名 []の省エネルギー化事業

事業者名 株式会社 []

事業所名称 []

設備区分 高効率空調

削減率 20%

稼働率 98.4%

算出方法

算出方法 見える化装置を使用して計測し、設備のエネルギー使用量の積算値を把握

省エネルギー効果

1 省エネルギー効果 省エネルギー削減率 (設備区分毎) 147.5%

2 補正計算 補正計算 有り

各月の更新後エネルギー使用量

3-1 3-2

省エネルギー効果	補正計算	各月の更新後エネルギー使用量
1 省エネルギー効果	2 補正計算	4月 251.0 kWh (0.064 kJ)
		5月 900.0 kWh (0.231 kJ)
		6月 800.0 kWh (0.205 kJ)
		7月 51.6 kWh (0.013 kJ)
		8月 145.6 kWh (0.037 kJ)
		9月 156.7 kWh (0.040 kJ)
		10月 146.7 kWh (0.037 kJ)
		11月 146.7 kWh (0.037 kJ)
		12月 166.7 kWh (0.042 kJ)

4 エネルギー使用量および原油換算値*

5 省エネルギー効果計算

月	交付申請時の計画値			成果報告時の実績値	
	事業実施前 エネルギー使用量	事業実施後 エネルギー使用量	省エネルギー量	エネルギー使用量	省エネルギー量
4月	3,392 kJ	0,438 kJ	2,954 kJ	0,064 kJ	3,328 kJ
5月	6,564 kJ	0,851 kJ	5,713 kJ	0,231 kJ	6,333 kJ
6月	11,832 kJ	1,656 kJ	10,176 kJ	0,205 kJ	11,627 kJ
7月	21,252 kJ	3,974 kJ	17,278 kJ	0,013 kJ	21,239 kJ
8月	21,201 kJ	4,499 kJ	16,702 kJ	0,037 kJ	20,164 kJ
9月	4,809 kJ	0,370 kJ	2,779 kJ	0,037 kJ	3,112 kJ
10月	4,809 kJ	0,754 kJ	4,055 kJ	0,037 kJ	4,772 kJ
11月	18,211 kJ	2,574 kJ	15,637 kJ	0,042 kJ	18,169 kJ
12月	24,292 kJ	3,685 kJ	20,607 kJ	0,017 kJ	24,275 kJ
1月	22,710 kJ	3,335 kJ	19,375 kJ	0,017 kJ	22,693 kJ
2月	13,929 kJ	1,982 kJ	11,947 kJ	0,014 kJ	13,915 kJ
合計	168,063 kJ	26,300 kJ	141,703 kJ	0,754 kJ	167,309 kJ

6

保存

3-4 計測・算出結果の入力（共通）

項目	入力情報	区分	概要
1	省エネルギー効果 (省エネルギー量達成率)	表示	次の手順4.で「5 省エネルギー効果計算」をクリックすると、計算結果が自動表示されます。
2	補正計算	選択	「無し」を選択します。
3	使用エネルギー	選択	<p>交付申請時に入力した使用エネルギーがプルダウンメニューで表示されます。</p> <p>また、選択した使用エネルギーに応じて、熱量換算係数とエネルギー使用量の単位が自動表示されます。但し、「ガス(その他)」を選択した場合は、熱量換算係数を入力してください。</p> <p>※ 複数の使用エネルギーが表示される場合は、「3-1 明細追加」をクリックして行を追加し、必ず全ての使用エネルギーについてエネルギー使用量を入力してください。</p> <p>※ 設備がGHPの場合は、「都市ガス(45MJ/m³)」、「都市ガス(46MJ/m³)」、及び「ガス(その他)」が全て表示されますので、これらの中から実際に使用するガスの種別を選択してください。</p>
3-1	明細追加	クリック	「3 使用エネルギー」が複数ある場合（交付申請時に複数のエネルギー種別で申請していた場合）に、表示されたエネルギー種別の数の分クリックし、入力行を追加します。
3-2	削除選択	選択	明細行を削除したい場合にチェック (☑) を入れ、「保存」をクリックします。
4	エネルギー使用量および 原油換算量	入力	<p>1年分各月の導入設備のエネルギー使用量を入力します。</p> <p>※ 画面上の入力項目は「4月」から表示が開始されています。月毎の入力欄の下にあるスクロールバーを右へドラッグすると、「3月」までの残りの月の入力欄が表示されますので、必ず12か月分全ての値を入力してください。</p> <p>※ 3-1 で明細行を複数作成した場合は、エネルギー種別毎に分けてエネルギー使用量を入力します。</p> <p><注意> GHP(チラー含む)、及び節電型吸収式冷凍機を導入した場合は、その消費電力量も含めた電気使用量を報告してください。</p>

4. 「5 省エネルギー効果計算」をクリックします。

⇒ 入力したデータの省エネルギー実績が計算され、表示されます。

※ 省エネルギー効果計算の結果に違和感がある場合は、上記「3 使用エネルギー」、及び「4 エネルギー使用量および原油換算量」を見直し、再度、「5 省エネルギー効果計算」をクリックして、再計算してください。

5. 「6 保存」をクリックします。

⇒ 入力内容、及び計算結果が保存され、「成果報告エネルギー使用量詳細 画面」に戻ります。

これで、計測・算出結果の入力は完了です。

「3-5 計測・算出結果の確認（共通）」へ進み、計算した結果が成果報告として提出できる値か確認してください。

3-5 計測・算出結果の確認（共通）

計測・算出結果を入力・保存後に表示される「成果報告エネルギー使用量詳細 画面」の「省エネルギー効果」-「実績値」-「省エネルギー量達成率（設備区分毎）」を確認します。

「省エネルギー効果」の「実績値」-「省エネルギー量達成率(設備区分毎)」で、値を確認する。

実績値	
省エネルギー量	167,213 MJ
省エネルギー量達成率(設備区分毎)	147.5%



(1) 確認した値が「100%」以上で、特に過大な値であると思われる場合

⇒ 再計算、及び補正計算の必要がない場合は、「3-7 必要書類の印刷（共通）」へ進んでください。

(2) 入力内容を変更して再計算したい場合

⇒ 入力内容を変更して再計算したい場合は、計算結果を削除して、計算し直すことができます。
詳細については、次ページ「<参考> 再計算したい場合」を参照してください。

(3) 達成率が100%未満、又は過大に計上された場合

まず、設備の導入後に、以下のようなエネルギー消費に関連する状況の変化がなかったか、確認してください。

- ・ 導入設備の運転時間が計画時と異なる
 - ・ 導入設備の運転日数が計画時と異なる
 - ・ 当該導入設備による成果物の生産量が計画時と異なる 等
- ※

⇒ そのうえで、状況の変化により、交付申請時に計画していたような省エネルギー効果に影響があった場合は、正しい省エネルギー量を求めるために、申請時点の稼働条件に合わせて補正計算を行ってください。

⇒ エネルギー使用量の補正の詳細については、「2-5 エネルギー使用量の補正」、補正計算手順の詳細については「3-6 補正計算の実施 ※ 必要な場合のみ」を参照してください。

※ 補正計算を行う場合、補正係数と導入設備のエネルギー使用量に密接な関係があることが前提です。
例えば、産業ヒートポンプ、ボイラ、給湯器等は、基本的に運転時間と運転日数による補正はできません。

<参考> 再計算したい場合

補助事業ポータルにて省エネルギー計算を実施後、計算をやり直したい場合は、計算結果を削除して再度データを入力し、再計算してください。

[省エネ計算データの削除]

1. 計算結果が表示されている「成果報告エネルギー使用量詳細 画面」で、「成果報告詳細画面へ」をクリックします。



⇒ 「成果報告詳細 画面」が表示されます。

2. 再計算したい設備区分の「詳細」をクリックします。

No.	設備区分	設備名	事業実施前 エネルギー使用量	計画省エネルギー量		実績省エネルギー量			按分率
				合計	削減率	実績値 合計	達成率	補正	
1	注1	高効率照明	0.956kI	0.466kI	48.7%	0.593kI	127.2%	-	0.4%
2	注2	高効率空調	168.063kI	113.362kI	67.4%	167.405kI	147.6%	-	98.4%
3	注3	冷凍冷蔵設備	338.158kI	1.331kI	0.3%	1.375kI	103.3%	-	1.1%
事業全体の合計			507.177kI	115.159kI	22.7%	169.373kI	147.0%	-	-

3. 画面右上の「削除」ボタンをクリックします。



<参考> 再計算したい場合



「補正計算」、「削除」ボタンが消えます。

選択した使用エネルギー、及び計算結果が消去されます。

続けて、再計算を行います。

[省エネ再計算]

4. 「編集」ボタンをクリックします。

編集

⇒ P.42に戻り、再度省エネルギー計算を行ってください。

3-6 補正計算の実施 ※ 必要な場合のみ

5. (必要な場合のみ) 補正計算を行う

交付決定後に、エネルギー消費に関連する条件の変化があった場合は、補正計算を行ってください。



補正計算の考え方については、前述「2-5 エネルギー使用量の補正」を参照してください。

■ 補正計算の流れ

(1) 補正計算の必要性を示す証憑書類を用意する



(2) 補正計算方法を「簡易」、又は「独自」から選択する



(3) 補正計算を行う

以降で、各手順の詳細を説明します。

(1) 補正計算の必要性を示す証憑書類を用意する

補正計算を行う必要が生じた状況が示されている資料を用意してください。

- ※ これらの根拠資料は、P.11「■ 提出書類」の「添付3 補正計算の根拠資料」にあたります。
補正計算を行った場合は、成果報告書類として必ず提出してください。
- ※ 資料の提出時には、補助事業ポータルに入力するデータの根拠となる値（生産量・運転時間等）に、分かりやすいようマーカ等で印をつけてください。
- ※ 提出する資料の詳細については、「2-5 エネルギー使用量の補正」内の「■ 証憑書類の条件」を参照してください。

(2) 補正計算方法を「簡易」、又は「独自」から選択する

※ 各計算方法の詳細については、「2-5 エネルギー使用量の補正」- <補正計算を行う方法> の赤枠内を参照してください。

3-6 補正計算の実施 ※ 必要な場合のみ

(3) 補正計算を行う

用意した証憑書類を見ながら、補助事業ポータルに必要な項目を入力します。
 入力は、設備区分毎に行ってください。

1. 「申請書詳細 画面」の画面右上の「成果報告詳細」をクリックします。

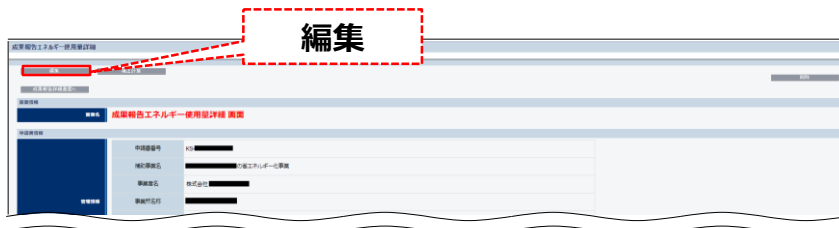


2. 「成果報告詳細 画面」を下方へスクロールし、「省エネルギー実績総括表」欄で、補正計算を行う設備区分の「詳細」をクリックします。



⇒ 「成果報告エネルギー使用量詳細 画面」が表示されます。

3. 「編集」をクリックします。



3-6 補正計算の実施 ※ 必要な場合のみ

4. 「補正計算」を、現状の「無し」から「有り」へ変更し、「保存」をクリックします。

【補正計算（有り／無し）】について
 「補正計算」の項目を「無し」にしたまま、補正計算（手順5以降）を実施後、改めて「有り」を選択すると、入力した補正計算の値が**全て消去**されます。補正計算を実施する場合は、必ずここで「有り」を選択してください。

5. 「成果報告エネルギー使用量詳細 画面」の「補正計算」をクリックします。

⇒ 「成果報告補正計算 画面」が表示されます。

6. 「補正方法」のプルダウンから、「有り（簡易）」、又は「有り（独自）」のいずれかを選択し、「確定」をクリックします。

⇒ 「確定」をクリックすると、各補正計算方法に応じた入力画面が表示されます。

3-6 補正計算の実施 ※ 必要な場合のみ

以降の手順は、選択した補正計算方法（簡易、又は独自）によって異なります。

- | | | |
|----------------|---|--------------|
| ・有り（簡易）を選択した場合 | ➡ | P.51（A）へ進みます |
| ・有り（独自）を選択した場合 | ➡ | P.52（B）へ進みます |

3-6 補正計算の実施 ※ 必要な場合のみ

7. 補正計算に必要な情報を入力します。

(A) 有り(簡易)を選択した場合

補正計算の理由: 営業日数の変更により、計画時の運転日数と差異が生じた

補正に用いる値: 運転日

単位: 日

省エネルギー目標達成率(補正後): 147.6%

補正計算

月	補正有無	成果報告時の補正値		補正係数	交付申請時の計画値			成果報告時の実績値		補正後の成果報告時の実績値	
		計画値	実績値		事業実施前 エネルギー使用量	事業実施後 エネルギー使用量	省エネルギー量	エネルギー使用量	省エネルギー量	エネルギー使用量	省エネルギー量
4月	<input type="checkbox"/>				3,392 kJ	0,438 kJ	2,954 kJ	0,000 kJ	3,392 kJ	0,000 kJ	3,392 kJ
5月	<input type="checkbox"/>				6,564 kJ	0,851 kJ	5,713 kJ	0,257 kJ	6,307 kJ	0,257 kJ	6,307 kJ
6月	<input type="checkbox"/>				11,832 kJ	1,656 kJ	10,176 kJ	0,257 kJ	11,575 kJ	0,257 kJ	11,575 kJ
7月	<input checked="" type="checkbox"/>	22.00	25.00	88.0	21,252 kJ	3,974 kJ	17,278 kJ	0,014 kJ	21,238 kJ	0,012 kJ	21,240 kJ
8月	<input checked="" type="checkbox"/>	28.00	29.00	96.5	23,201 kJ	4,469 kJ	18,732 kJ	0,014 kJ	23,187 kJ	0,013 kJ	23,188 kJ
9月	<input checked="" type="checkbox"/>	28.00	29.00	96.5	14,722 kJ	2,272 kJ	12,450 kJ	0,017 kJ	14,705 kJ	0,016 kJ	14,706 kJ
10月	<input type="checkbox"/>				3,149 kJ	0,370 kJ	2,779 kJ	0,017 kJ	3,132 kJ	0,015 kJ	3,134 kJ
11月	<input type="checkbox"/>				4,809 kJ	0,754 kJ	4,055 kJ	0,017 kJ	4,792 kJ	0,017 kJ	4,792 kJ
12月	<input type="checkbox"/>				18,211 kJ	2,574 kJ	15,637 kJ	0,017 kJ	18,194 kJ	0,017 kJ	18,194 kJ
1月	<input type="checkbox"/>				3,149 kJ	0,370 kJ	2,779 kJ	0,017 kJ	3,132 kJ	0,015 kJ	3,134 kJ
2月	<input type="checkbox"/>				3,335 kJ	1,982 kJ	11,947 kJ	0,014 kJ	13,915 kJ	0,014 kJ	13,915 kJ
3月	<input type="checkbox"/>				9 kJ	1,982 kJ	11,947 kJ	0,014 kJ	13,915 kJ	0,014 kJ	13,915 kJ
合計					7,063 kJ	26,360 kJ	141,703 kJ	0,658 kJ	167,405 kJ	0,652 kJ	167,411 kJ

項目	No.	入力情報	区分	概要
1		補正計算の理由	選択/入力	補正計算を行った理由を選択します。 ※ 選択肢で表示される例にあてはまらない場合は「その他」を選択し、理由を具体的に、目づ明確に入力してください。
補正に用いる値	2-1	補正に用いる値	選択	「運転時間(単位: h)」、「運転日(日)」、「生産量(単位: t、個、台、枚)」、及び「その他」から選択します。
	2-2	単位	選択/入力	「2-1 補正に用いる値」で「生産量」を選択した場合は、「単位」を選択してください。「その他」を選択した場合は、「単位」を入力してください。
成果報告時の補正値	3-1	計画値	入力	補正する月の「補正有無」にチェックを入れ、計画値を入力します。 例) 「2-1 補正に用いる値」で「運転時間」を選択した場合は、計画時の運転時間を入力します(単位の入力は不要)。
	3-2	実績値	入力	補正する月の「補正有無」にチェックを入れ、実績値を入力します(上記「3-1 計画値」と同様)。

8. 「4 補正計算」をクリックし、「補正後の成果報告時の実績値」に表示された補正後の値を確認します。

9. 「5 保存」をクリックし、「成果報告エネルギー使用量詳細 画面」に戻ります。
P.53「6. 入力内容を確認する」へ進んでください。

3-6 補正計算の実施 ※ 必要な場合のみ

7. 補正計算に必要な情報を入力します。

(B) 有り(独自) を選択した場合

補正に用いる値: ※補正に用いる単位「kl」と入力してください。

省エネルギー量達成率 (補正後): 147.2% ← 「3 補正計算」クリック後、自動表示されます。

補正計算の理由

月	成果報告時の補正值		補正計算の理由	交付申請時の計書値			成果報告時の実績値		補正後の成果報告時の実績値	
	補正有無	エネルギー使用量 (補正後)		事業実施前 エネルギー使用量	事業実施後 エネルギー使用量	省エネルギー量	エネルギー使用量	省エネルギー量	エネルギー使用量	省エネルギー量
4月	<input type="checkbox"/>			3,392 kJ	0.438 kJ	2,954 kJ	0.000 kJ	3,392 kJ	0.000 kJ	3,392 kJ
5月	<input type="checkbox"/>			6,564 kJ	0.851 kJ	5,713 kJ	0.257 kJ	6,307 kJ	0.257 kJ	6,307 kJ
6月	<input type="checkbox"/>			11,832 kJ	1.656 kJ	10,176 kJ	0.257 kJ	11,575 kJ	0.257 kJ	11,575 kJ
7月	<input checked="" type="checkbox"/>	0.200	営業日数の変更により、計画時の運転日数と差異が生じた	21,252 kJ	3.974 kJ	17,278 kJ	0.014 kJ	21,238 kJ	0.200 kJ	21,052 kJ
8月	<input checked="" type="checkbox"/>	0.295	営業日数の変更により、計画時の運転日数と差異が生じた	23,201 kJ	4.469 kJ	18,732 kJ	0.014 kJ	23,187 kJ	0.295 kJ	22,946 kJ
9月	<input type="checkbox"/>			14,722 kJ	2.272 kJ	12,450 kJ	0.017 kJ	14,705 kJ	0.017 kJ	14,705 kJ
10月	<input type="checkbox"/>			3,149 kJ	0.370 kJ	2,779 kJ	0.017 kJ	3,132 kJ	0.017 kJ	3,132 kJ
11月	<input type="checkbox"/>			4,809 kJ	0.754 kJ	4,055 kJ	0.017 kJ	4,792 kJ	0.017 kJ	4,792 kJ
12月	<input type="checkbox"/>			19,211 kJ	2.574 kJ	15,637 kJ	0.017 kJ	18,194 kJ	0.017 kJ	18,194 kJ
1月	<input type="checkbox"/>			24,292 kJ	3.685 kJ	20,607 kJ	0.017 kJ	24,275 kJ	0.017 kJ	24,275 kJ
2月	<input type="checkbox"/>			22,719 kJ	3.325 kJ	19,394 kJ	0.017 kJ	22,693 kJ	0.017 kJ	22,693 kJ
3月	<input type="checkbox"/>			13,929 kJ	1.947 kJ	11,982 kJ	0.014 kJ	13,915 kJ	0.014 kJ	13,915 kJ
合計				166,978 kJ	22.703 kJ	144,275 kJ	0.656 kJ	167,405 kJ	1.055 kJ	166,978 kJ

保存

項目	No.	入力情報	区分	概要
1		補正に用いる値	入力	補正に用いる単位として、「kl」と入力します。
成果報告時の補正值	2-1	エネルギー使用量 (補正後)	入力	補正する月の「補正有無」にチェックを入れ、原油換算した補正後のエネルギー使用量を入力します。
	2-2	補正計算の理由	入力	補正計算を行った理由を入力します。 ※ 理由は、具体的、且つ明確に入力してください。 ※ 上記 2-1 で「補正有無」にチェックを入れると、入力欄が表示されます。

8. 「3 補正計算」をクリックし、「省エネルギー量達成率 (補正後)」に表示されている値を確認します。

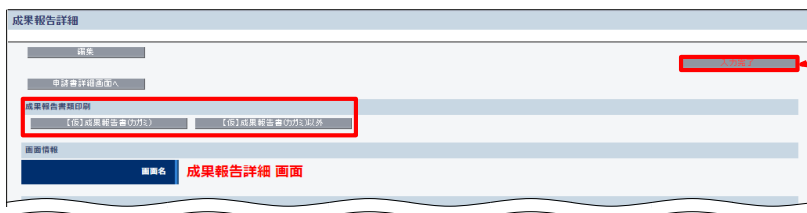
9. 「4 保存」をクリックし、「成果報告エネルギー使用量詳細 画面」に戻ります。
P.53「6. 入力内容を確認する」へ進んでください。

3-7 必要書類の印刷（共通）

6. 入力内容を確認する

全項目の入力（必要に応じて補正計算の実施）が完了したら、補助事業ポータル画面に出カイメージ（背景に「仮」が表示されたイメージ）を表示して、内容の最終確認を行います。

1. 開いている画面左上方にある **成果報告詳細画面へ** をクリックして、「成果報告詳細 画面」に戻ります。
2. 「成果報告詳細 画面」の「成果報告書類印刷」に表示されている、【仮】から始まる各ボタンをクリックします。それぞれのボタンから表示される書類は、下表のとおりです。



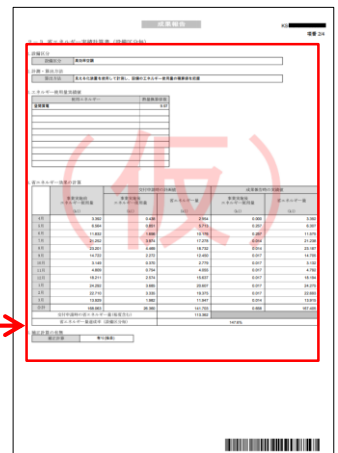
まだ「入力完了」ボタンは押さないでください！
 「入力完了」ボタンをクリックすると、データ修正ができなくなります。

ボタン名	出力される書類名
【仮】成果報告書(かがみ)	・ 1 成果報告書（かがみ）
【仮】成果報告書(かがみ)以外	・ 2-1 事業概要 ・ 2-2 省エネルギー実績総括表 ・ 2-3 省エネルギー実績計算書（設備区分毎）

3. 「仮」が表示されたイメージで、補助事業ポータルへの入力内容を確認します。

- ・ 内容が正しいことを確認したら、次ページの提出用書類の印刷へ進みます。
- ・ 修正が必要な場合は補助事業ポータルに戻ってデータを修正します。
- ・ 修正後、省エネルギー量の再計算等を行い、再度「仮」が表示されたイメージで修正されたかどうかを確認します。

各項目を確認する



ここで出力する背景に「仮」が表示されたイメージ書類は確認用であり、提出書類ではありません。
 提出用の書類を作成するには、次ページの手順7.を参照してください。

3-7 必要書類の印刷（共通）

7. 「入力完了」ボタンをクリックし、補助事業ポータルより書類を印刷する

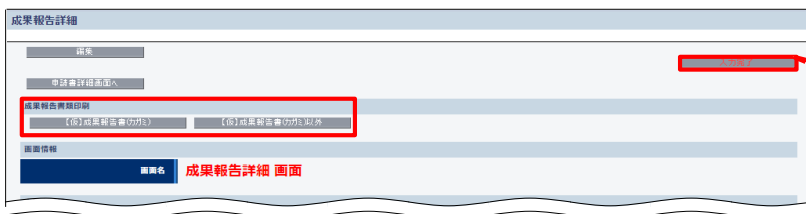
出力イメージで入力内容が正しいことを確認したら、データを確定し、提出用の書類を印刷します。



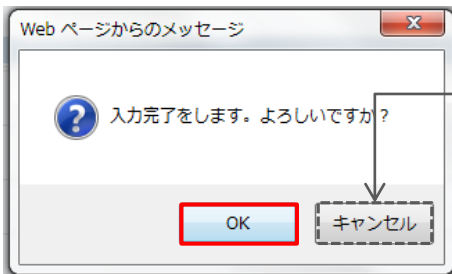
「入力完了」ボタンをクリック後のメッセージ画面で「OK」をクリックすると（下記手順2）、編集（修正）ができなくなります。クリックする前に、誤入力等がないか、よく確認してください。

※ 「入力完了」ボタンのクリック後、やむを得ず入力データの修正等が必要になった場合は、S I Iへ連絡してください。

1. 「成果報告詳細 画面」で、「入力完了」をクリックします。



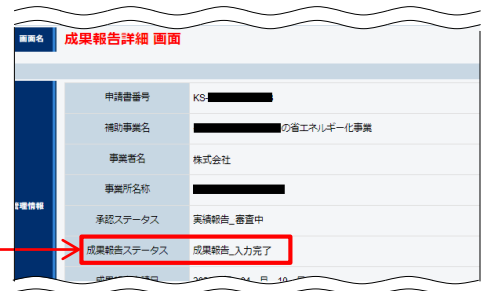
2. 下記の確認メッセージが表示されたら「OK」をクリックします。



※ 再度入力内容を確認したい場合は、この画面で「キャンセル」をクリックし、戻った画面で「編集」をクリックすると、編集画面に戻ります。

「OK」をクリックすると元に戻りません。よく確認してください。

⇒ 「成果報告ステータス」が「成果報告_入力完了」に変わります。



※ **エラーメッセージが表示された場合は、次ページ「入力完了」ボタンをクリック後、エラーが表示された場合（補正計算を実施した場合）」を参照してください。**

3-7 必要書類の印刷（共通）

「入力完了」ボタンをクリック後、エラーが表示された場合（補正計算を実施した場合）

エラーを解消するまでデータ入力を完了することができません。以下、エラーメッセージ毎の説明を読んでデータを正しく修正後、再度「入力完了」ボタンをクリックしてください。

エラーメッセージ①

[補正有無]で「有り」が選択されていますが、補正計算が実施されていません。

エラーメッセージ②

[補正有無]で「無し」が選択されていますが、補正計算が実施されています。

P.49 手順4.の「補正計算」において、「有り」、又は「無し」のどちらを選択しているか、確認します。

① 「有り」を選択し、実際にも補正計算が必要な場合

➡ P.49の手順5.以降を実施（「補正計算」ボタンをクリック）してください。

① 「有り」を選択したが、実際は補正計算は不要である場合

➡ P.49の手順4.で「有り」を「無し」に変更し、「保存」をクリックしてください。

② 「無し」を選択したが、実際は補正計算が必要な場合

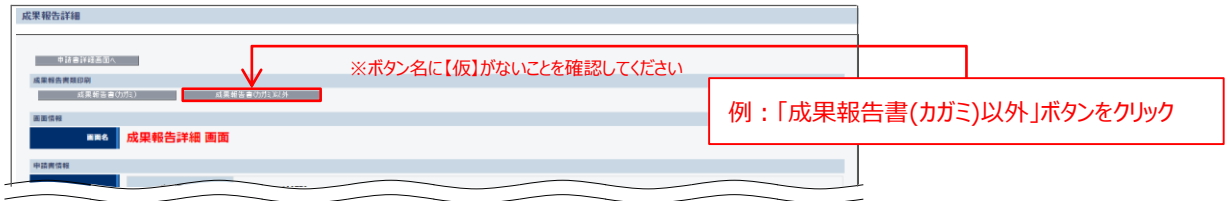
➡ P.49の手順4.で「無し」を「有り」に変更し、手順5.以降を実施（「補正計算」ボタンをクリック）してください（既に計算された結果は、一度削除されます）。

② 「無し」を選択し、実際にも補正計算が不要な場合

➡ P.49の手順5.で「補正計算」ボタンをクリック→手順6で「有り(簡易)」、又は「有り(独自)」が選択されている項目を「--なし--」に変更して「確定」→「保存」をクリックしてください（補正計算結果が削除されます）

3-7 必要書類の印刷（共通）

3. 印刷する書類が含まれるボタンをクリックします。



⇒ 下表<補助事業ポータルより出力する書類>に記載された全ての書類が、PDF形式で縦に続けて表示されます。

<補助事業ポータルより出力する書類>

ボタン名	出力される書類名
成果報告書(カガミ)	・ 1 成果報告書 (かがみ) ※
成果報告書(カガミ)以外	・ 2-1 事業概要 ・ 2-2 省エネルギー実績総括表 ・ 2-3 省エネルギー実績計算書 (設備区分毎)

※ 「1 成果報告書 (かがみ)」は、印刷後、**押印が必要**です。
詳細については、次ページ「<参考> 成果報告書類のサンプル」の「■ 1 成果報告書 (かがみ)」を参照してください。

4. 印刷したい書類が表示されるまで画面をスクロールします。

印刷したい書類が表示されたら、PDFソフトの印刷機能を使って、書類を印刷します。
印刷した書類についても、内容が正しいかどうか、提出前に必ず確認してください。



※ 特にページ番号を指定せずに印刷した場合は、全ての書類が一度に印刷されます。

5. 上記手順3.の表<補助事業ポータルより出力する書類>に記載された全ての書類が印刷されたか、確認します。
不足書類があった場合は、手順3.に戻り、必要な書類の「印刷ボタン名」をクリックして、書類を印刷してください。

これで、提出用の書類の印刷は完了です。

次ページより、補助事業ポータルより出力する書類のサンプルを掲載しています。押印箇所や、内容についての確認ポイント等が示されていますので、よく確認し、不備のない書類を提出してください。

<参考> 成果報告書類のサンプル

■ 1 成果報告書（かがみ）

「成果報告書（かがみ）」には、**代表者印等の押印が必要**です。
補助事業ポータルから書類を出力後、忘れずに押印してから、提出してください。

成果報告 KS: [REDACTED]

「成果報告申請日」が印字
されます

2020年4月10日

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代 表 理 事 赤 池 学 殿

申請者 1 [REDACTED]
株式会社 [REDACTED]
会長 [REDACTED]

申請者 2 [REDACTED]

申請者 [REDACTED]

申請者 [REDACTED]

平成 29 年度補正予算 省エネルギー設備の導入・運用改善による
中小企業等の生産性革命促進事業の効果等の報告について

2018年5月29日 付け第 SH [REDACTED] 号をもって交付決定があった
上記補助金について、省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進
事業に係わる交付条件に基づき、補助事業の効果等について、別紙のとおり報告します。


印

印

印

印

印



<参考> 成果報告書類のサンプル

■ 2-1 事業概要 / 2-2 省エネルギー実績総括表

成果報告
KS-XXXXXXXXXX

2-1 事業概要

■ 主申請者情報

事業者名	フリガナ XXXXXXXXXX	会社法人等番号	XXXXXXXXXX
申請法人の業種	株式会社 XXXXXXXXXX	補助事業内での役割	設備使用者
住所（本店所在地）	〒 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX		
資本金	0.12 億円	従業員数	4,126 人
代表電話番号	XXXXXXXXXX		中小企業/ その他
担当者情報	部署名	XXXXXXXXXX	
	氏名	フリガナ XXXXXXXXXX	電話番号 XXXXXXXXXX
		メールアドレス XXXXXXXXXX	主体となる 管理担当者
	住所	〒 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX	

■ 事業所情報（設置場所）

事業所名称	XXXXXXXXXX
実施場所の業種	XXXXXXXXXX
実施場所住所	〒 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX

■ 事業概要


補助事業名	XXXXXXXXXX
補助事業概要	省エネルギー性能に優れた高効率照明、高効率空調、冷凍冷蔵設備、及び見える化装置の導入により、省エネルギー化を図る事業です。
事業完了日	
導入設備区分	高効率照明、高効率空調、冷凍冷蔵設備

■ 省エネルギー効果（原油換算）

事業実施前エネルギー使用量	507,177 (k1/年)			
事業実施後エネルギー使用量	計画値	実績値	補正後実績値	
	原油換算使用量	363,417 (k1/年)	310,009 (k1/年)	310,436 (k1/年)
	省エネルギー率	115,159 (k1/年)	197,168 (k1/年)	196,741 (k1/年)
省エネルギー率	22.7%	38.8%	38.7%	
省エネルギー達成率（事業所全体）	170.8%			

2-2 省エネルギー実績総括表

	事業実施前 エネルギー使用量 (原油換算 k1/年)	計画省エネルギー量 (原油換算 k1/年)	実績省エネルギー量 (原油換算 k1/年)	
			実績値	補正後実績値
高効率照明	0.956	0.466	0.269	0.269
高効率空調	168,063	113,362	167,405	166,978
産業ヒートポンプ				
業務用給湯器				
高性能ボイラ				
高効率コージェネレーション				
低炭素工業炉				
冷凍冷蔵設備	338,156	1,331	29,494	29,494
産業用モータ				
事業全体	507,177	115,159	197,168	196,741



<参考> 成果報告書類のサンプル

■ 2-3 省エネルギー実績計算書（設備区分毎）

※ 補正計算有り

【1枚目】

成果報告

KS: [] 項番 2/4

2-3 省エネルギー実績計算書（設備区分毎）

1. 設備区分

2. 計測・算出方法
算出方法

3. エネルギー使用量実績値

使用エネルギー	熱量換算係数
昼間買電	0.97

4. 省エネルギー効果の計算

	事業実施前 エネルギー使用量 (k)	交付申請時の計画値		成果報告時の実績値	
		事業実施後 エネルギー使用量 (k)	省エネルギー量 (k)	事業実施後 エネルギー使用量 (k)	省エネルギー量 (k)
4月	3,392	0,438	2,954	0,000	0.000
5月	6,564	0,851	5,713	0,257	0.257
6月	11,832	1,659	10,178	0,257	0.257
7月	21,252	3,974	17,278	0,014	0.014
8月	23,201	4,469	18,732	0,014	0.014
9月	14,722	2,272	12,450	0,017	0.017
10月	3,149	0,370	2,779	0,017	0.017
11月	4,809	0,754	4,055	0,017	0.017
12月	18,211	2,574	15,637	0,017	0.017
1月	24,292	3,685	20,607	0,017	0.017
2月	22,710	3,335	19,375	0,017	0.017
3月	13,929	1,982	11,947	0,014	0.014
合計	168,063	26,360	141,703	0,858	0.858
交付申請時の省エネルギー量(総度含む)		113,362			
省エネルギー量達成率(設備区分毎)		147.6%			

5. 補正計算の有無

補正計算 有り(理由)

補正計算「有り」

【2枚目】

成果報告

KS: [] 項番 3/4

2-3 省エネルギー実績計算書（設備区分毎）

6. 省エネルギー効果の補正計算

	補正に用いる値	計画値	実績値	エネルギー使用量(補正後)
4月				
5月				
6月				
7月	k			0.200
8月	k			0.255
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				

7. 補正計算の理由

	補正計算の理由
4月	
5月	
6月	
7月	営業日数の変更により、計画時の運転日数と差異が生じた
8月	営業日数の変更により、計画時の運転日数と差異が生じた
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

● 補正計算有りの場合は、設備区分毎に2枚1組で出力されます。必ず2枚1組で提出してください。

※ 2020年3月版より追加 (全ページ追加のため、文字色は通常色の黒を基本としています)

第4章 成果報告書類の ファイリングと提出

成果報告書類のファイリングと提出方法について説明します

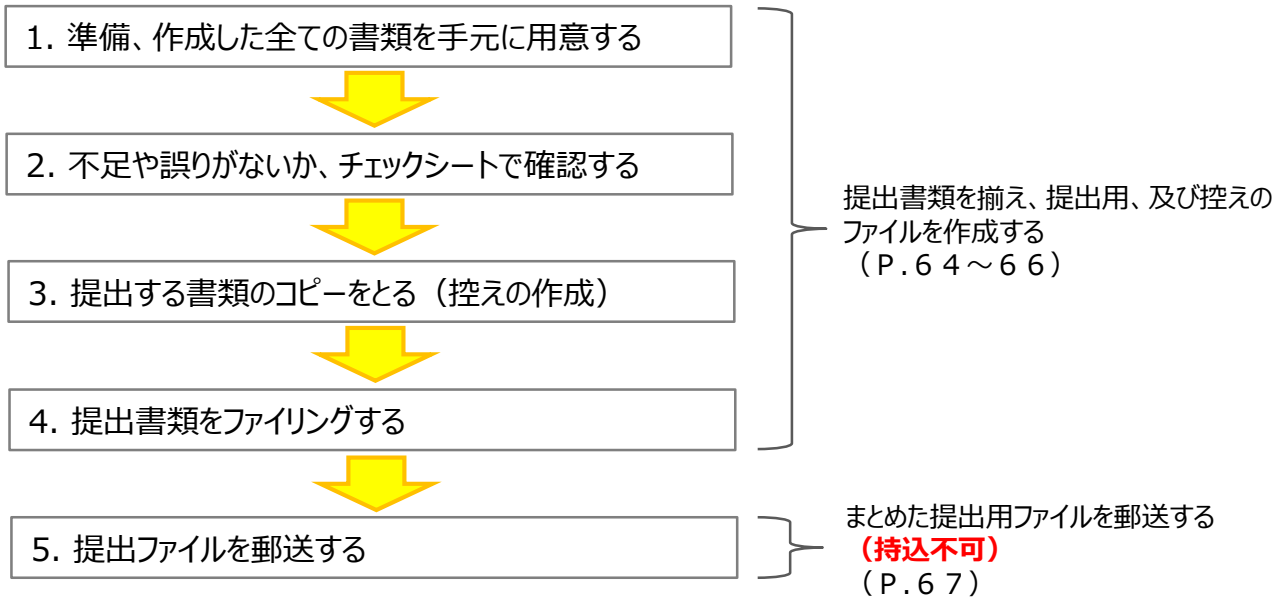
4-1 成果報告書類のファイリングと提出の概要

■ 成果報告書類のファイリングから提出までの手順

第2章で準備した証憑書類（※）、及び第3章で補助事業ポータルから印刷した書類を1冊のファイルとしてまとめ、S I Iへ郵送します（持込不可）。

※ 書類の種類や内容は、選択した計測・算出方法によって異なります。

書類の提出は、以下の手順で行います。



以降で、それぞれの手順の詳細について、説明します。

4-2 提出書類の印刷と控への作成

1. 準備、作成した全ての書類を手元に準備する

準備した書類を下表（P. 11再掲）の順に並べ替え、必要な書類が全て揃っているか、確認します。

No.	書類名称	入手方法	原本/写し
1	成果報告書（かがみ）		原本
2	1 事業概要	ポータル出力	原本
	2 省エネルギー実績総括表		原本
	3 省エネルギー実績計算書（設備区分毎）		原本
添付1	<p>計測したエネルギー使用量データを、以下2つの種類に集計して提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [1か月毎]×[12か月分]のエネルギー使用量のデータ ※ 集計イメージや必要情報の詳細については、「1-3 計測結果の集計例（提出書類「添付1」サンプル）」を参照してください。 ※ 代わりに「計測結果総括表」を提出しても構いません。 ● [1時間以下単位]で取得したエネルギー使用量のうち、設備が稼働していた日のデータ（2日分） ※ 上記「[1か月毎]×[12か月分]のエネルギー使用量のデータ」から、任意の2日分を抜き出して提出してください。 ※ 抜き出す基準について：見える化装置による計測が行われていたことの証明として提出が必要です。連続2日等ではなく、例えば夏季と冬季/上期と下期で1日ずつ等、年間を通して計測していることを示せる2日を選択してください。 ※ 導入した省エネルギー型設備に接続されている全ての計測機器毎に集計し、提出してください（P. 13のシステム概要図の例では、「計測機器」の3台分の提出が必要）。 	別途入手/作成	原本/写し
	<p>差分計測、混合計測実施時の提出書類の詳細については、「2-4 差分計測、混合計測を行う場合」、及び「3-1 計測結果入力を始める前に」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 差分計測 (1) 差分計測結果総括表 (2) 計測結果総括表（差分計測） ※ 全ての設備の計測結果と、補助対象以外の設備の計測結果を、それぞれ12か月分まとめたデータを転記して作成します。 ※ 原則、S I Iフォーマットを使用して作成してください。 ● 混合計測 (1) [1か月毎]×[12か月分]のエネルギー使用量のデータ ※ S I Iフォーマット「計測結果総括表」を使用してまとめ、提出してください。 ※ 集計イメージや必要情報の詳細については、「1-3 計測結果の集計例（提出書類「添付1」サンプル）」を参照してください。 (2) 全ての設備の計測結果と、補助対象以外の設備のエネルギー使用量を合理的に算出した計算過程の説明資料 		
添付2	<p>システム概要図</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 実績報告時に提出した図面を提出してください。 ※ 計測方法の変更等があった場合は、最新の状態を示すシステム概要図を改めて作成し、提出してください。詳細については、P. 13 <<システム概要図について>>、及び「3-1 計測結果入力を始める前に」を参照してください。 	別途入手/作成	原本/写し
添付3	<p>補正計算の根拠資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 簡易補正を行う場合は、「計測結果総括表【補正值】（簡易補正）」を提出してください。 ※ 独自補正を行う場合は、「計測結果総括表【補正值】（独自補正）」、及び計算の根拠と計算式を説明した資料を提出してください。 ※ 補正計算、及び補正計算実施時に提出する証憑書類の詳細については、「2-5 エネルギー使用量の補正」、及び「3-1 計測結果入力を始める前に」を参照してください。 	別途入手/作成	原本/写し

4-2 提出書類の印刷と控えの作成

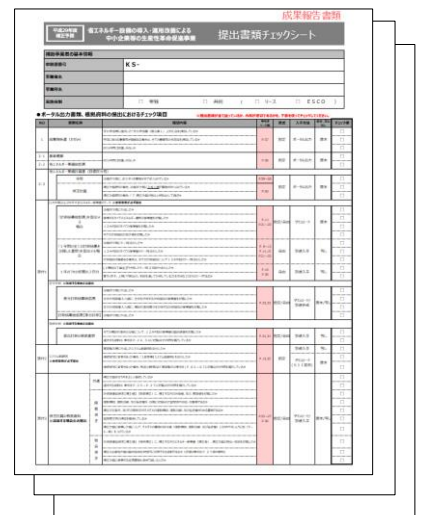
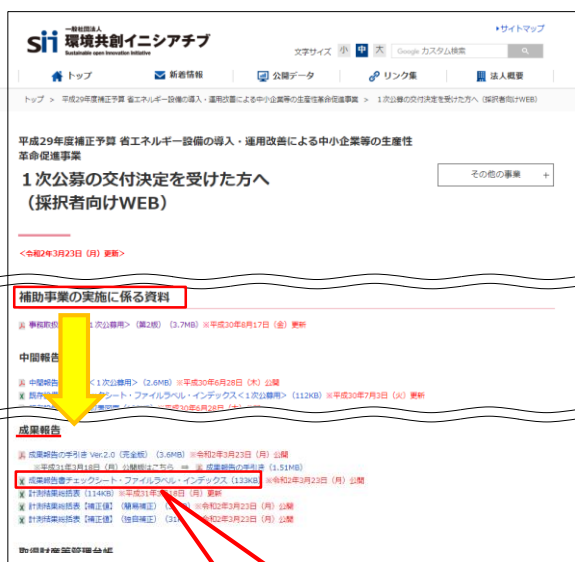
2. 不足や誤りがないか、チェックシートで確認する

書類を全て揃えたら、提出する内容に不足や誤りがないか、「提出書類チェックシート」を使って最終確認します。チェックシートは採択者向けWEBよりダウンロードしてください。

- ※ 採択者向けWEBへアクセスするURLについては、本書P.1「■採択者向けWEB（交付決定を受けた補助事業者向けのページ）」を参照してください。
- ※ 同時にダウンロードされる「ファイルラベル」、「ファイルインデックス」は、次ページの手順4で使用します。

＜採択者向けWEB＞
 (下例は1次公募の採択者向けWEB画面ですが、
 2次公募でもレイアウトは同じです。)

＜提出書類チェックシート＞



X 成果報告書チェックシート・ファイルラベル・インデックス

3. 提出する書類のコピーをとる（控えの作成）

控えのファイルを作成するために、作成した書類全ての写し（コピー）をとります。

提出された書類は返却しません。必ずをつけて控えとして保管し、S I I からの問い合わせ等に対応できるようにしてください。

手順1で並べた順番を崩さずにコピーし、穴（2穴）を開けてください。

穴を開ける際は、書類の左側に十分に余白を取り、記載部分等に穴がかからないように注意してください。

※ コピーした書類はS I Iへ提出する書類と同様にファイリングして保管します（同じ書類を2冊作成する）。ファイリング方法の詳細については次ページの手順4を参照してください。

※ なお、見積書や交付決定通知書等、本事業に関する全ての書類の原本は必ず保管してください。現地調査や官庁等の検査の際に書類の保管状況を確認させていただく場合があります。書類は必要な際にすぐ用意できるよう、適切に管理してください。

4-3 提出書類のファイリング

4. 提出用・控え用の2冊のファイルを作成する

手順3.で穴を開けた書類を、順番を崩さずに、A4版のファイルに綴じ込みます。

複数事業所の交付決定を受けた場合は、事業所毎（KSで始まる番号毎）に分けてファイルを作成してください。複数事業所分の報告書類を一冊にまとめて提出することはできません。

<書類提出のために準備するもの>

- A4版のファイル
全書類を綴じることができる厚さの2穴タイプ、背表紙があるもの（素材不問）を用意してください。
※ 予め全ての書類を綴じた厚みを想定し、余裕を持って綴じることのできる厚さのファイルを用意してください。
- 中仕切り
P.11の提出書類の種類別の枚数を用意してください
- ファイルラベル、ファイルインデックス
手順2で採択者向けWEBからダウンロードしたファイルのP.3～4を活用してください（前ページ手順2.参照）

最終的なファイルの完成イメージは以下のとおりです。

表紙/背表紙に記載する情報

- ① 事業名称（表紙のみ）
- ② 申請書番号（KS-0000）※
- ③ 申請者名
- ④ 事業所名

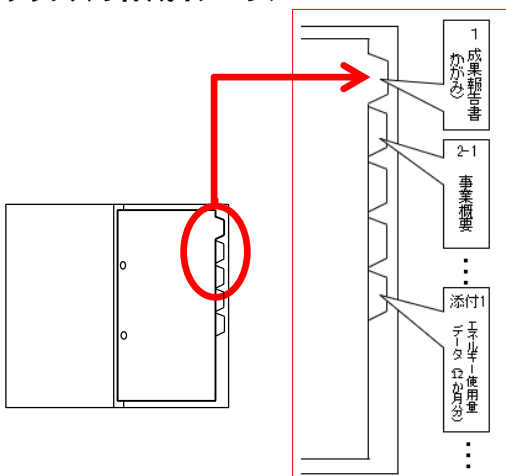
※ 補助事業ポータル入力時に発番される「KS-」から始まる番号です。

ファイリング時の注意

- ・ファイリングする際、書類をホッチキスやクリップで留めないでください。
- ・A3用紙が含まれる場合は、右半面を折り畳んで綴じ込んでください。
- ・中仕切り、インデックスについては、次の<インデックスの作成イメージ>を参照してください。

↑ S I I にて管理用シールを貼付するため、5cm程度の空枠を確保してください。

<インデックスの作成イメージ>



中仕切りにインデックスを貼り、書類の種類毎に書類の前に挟みます。

※ 書類自体に直接インデックスを貼らないでください。

※ それぞれの提出書類は、該当する中仕切りの後ろにファイリングしてください。

4-4 提出書類の郵送

5. 提出用ファイルを郵送する



**完成した成果報告書の提出ファイルは必ず郵送してください。
S I I への直接持込は、受け付けることができません。**

- 完成した成果報告書のファイルをもう一度見直し、書類の抜け漏れ、書類内の記載漏れ等がないか、よく確認してください。
- 配送事故に備え、配送状況が確認できる手段で**郵送してください（持込不可）**。

<書類郵送先>

書類郵送先

〒115-8691

日本郵便株式会社 赤羽郵便局

私書箱45号

一般社団法人 環境共創イニシアチブ

事業第1部

「省エネルギー設備の導入・運用改善による

中小企業等の生産性革命促進事業」成果報告書 在中

※ 「事業名」～「成果報告書 在中」の部分は、必ず赤字で記載してください。

※ 採択者向けWEBから、宛先が書かれたファイルラベルをダウンロードできます。活用してください。

<提出期限>

提出期限



省エネルギー量の成果報告の実績が、交付決定時の計画値に対して未達の場合や、データを取得していなかった場合は、支払い済みの補助金の返還を求める場合があります。

2020年5月29日（金）17時（必着）

※ 書類は、上記日時までに指定の私書箱に到着するよう、提出してください。
消印日ではありませんので、よく注意してください。



**不備があった場合は、S I I より連絡します。
S I I より連絡があった場合は、速やかにご対応いただくようお願いします。**

以上で、成果報告書の作成・提出手順の説明は終了です。

<参考> 使用エネルギー選択表

■ 使用エネルギー選択表

計測結果総括表の入力時にプルダウンメニューで表示される「使用エネルギー」は、下表の「①交付申請時に選択した使用エネルギー」を参考に表示されています。

例) 設備区分「高効率空調」-種別「ガスヒートポンプエアコン」を導入
 → ① 交付申請時は、「都市ガス13A (12A含む)」を選択した。
 → ② 成果報告時は、「都市ガス13A (45MJ/m³)」、「都市ガス13A (46MJ/m³)」、
 または「ガス(その他)」から実際に使用するガスの種別を選択する。

<<指定計算で申請した場合の使用エネルギー>>

設備区分	種別	①交付申請時に選択した使用エネルギー	②成果報告時に選択する使用エネルギー	備考
高効率照明 産業ヒートポンプ 冷凍冷蔵設備 産業用モータ		—	昼間買電	
高効率空調	電気式パッケージエアコン	—	昼間買電	
	ガスヒートポンプエアコン	都市ガス13A (12A含む)	都市ガス13A (45MJ/m ³)、 都市ガス13A (46MJ/m ³)、 ガス(その他)のいずれか	「ガス(その他)」を選択した場合、 ガス会社等で定められている発熱量 を入力してください。
		液化石油ガス(LPG) い号	液化石油ガス(LPG)	
		液化石油ガス(LPG) ろ号	液化石油ガス(LPG)	
		低カロリーガス	ガス(その他)	ガス会社等で定められている発熱量 を入力してください。
		ガス(その他)	ガス(その他)	ガス会社等で定められている発熱量 を入力してください。
		(電気)	昼間買電	
	チリングユニット	—	昼間買電	
	吸収式冷凍機	都市ガス13A (12A含む)	都市ガス13A (45MJ/m ³)、 都市ガス13A (46MJ/m ³)、 ガス(その他)のいずれか	「ガス(その他)」を選択した場合、 ガス会社等で定められている発熱量 を入力してください。
		液化石油ガス(LPG) い号	液化石油ガス(LPG)	
		液化石油ガス(LPG) ろ号	液化石油ガス(LPG)	
		低カロリーガス	ガス(その他)	
		ガス(その他)	ガス(その他)	ガス会社等で定められている発熱量 を入力してください。
		A重油	A重油	
		灯油	灯油	
	蒸気	産業用蒸気		

※ 発熱量等が不明な場合は、ガス会社等に問い合わせのうえ、入力を行ってください。

<参考> 使用エネルギー選択表

設備区分	種別	①交付申請時に選択した 使用エネルギー	②成果報告時に選択する 使用エネルギー	備考
業務用給湯器 高性能ボイラ 低炭素工業炉 高効率コージェネ レーション		電気	昼間買電	
		電気（その他）	その他買電	
		都市ガス（45MJ/Nm ³ ）	都市ガス13A（45MJ/m ³ ）	
		都市ガス（46MJ/Nm ³ ）	都市ガス13A（46MJ/m ³ ）	
		液化石油ガス（LPG）	液化石油ガス（LPG）	
		液化天然ガス（LNG）	液化天然ガス（LNG）	
		天然ガス（LNGを除く）	その他可燃性天然ガス	
		ガス（その他）	ガス（その他）	申請時に入力した発熱量と同じ 数値を入力してください。
		灯油	灯油	
		軽油	軽油	
		A重油	A重油	
		B重油	B・C重油	
		C重油	B・C重油	
		油（その他）	原油、原油のうちコンデンセー ト（NGL）、揮発油（ガソリ ン）、ナフサのいずれか。また はその他燃料等	申請時に入力した発熱量と同じ 数値を入力してください。
		一般炭	一般炭	
	コークス	石炭コークス		
	その他	ガス（その他）	申請時に入力した発熱量と同じ 数値を入力してください。	

お問い合わせ・相談・連絡窓口

一般社団法人環境共創イニシアチブ
省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業

補助金申請に関するお問い合わせ窓口

TEL : 0570-077-317 (ナビダイヤル)
※ IP電話からのお問い合わせ TEL : 042-303-4215

受付時間 : 平日の10:00~12:00、13:00~17:00
(土曜、日曜、祝日を除く)
通話料がかかりますのでご注意ください。

S I I ホームページ <https://sii.or.jp/>